

# Photoshop講座

# よく使うショートカットキー

目的	Windows	Mac OS
新規	「Ctrl」 + 「N」	「Command」 + 「N」
開く	「Ctrl」 + 「O」	「Command」 + 「O」
保存	「Ctrl」 + 「S」	「Command」 + 「S」
別名で保存	「Ctrl」 + 「Shift」 + 「S」	「Command」 + 「Shift」 + 「S」
復帰	「F12」	「F12」
閉じる	「Ctrl」 + 「W」	「Command」 + 「W」
画像解像度変更	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「I」	「Command」 + 「Option」 + 「I」
キャンバスサイズ変更	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「C」	「Command」 + 「Option」 + 「C」
拡大・縮小	「Alt」 + 「マウスホイール」	「Option」 + 「マウスホイール」
表示サイズに合わせる	「Ctrl」 + 「0」、手のひらツールをWクリック	「Command」 + 「0」、手のひらツールをWクリック
画像を 100 %で表示する	「Ctrl」 + 「1」、ズームツールをWクリック	「Command」 + 「1」、ズームツールをWクリック
グリッド表示・非表示	「Ctrl」 + 「@」	「Command」 + 「@」
ガイド表示・非表示	「Ctrl」 + 「:」	「Command」 + 「:」
定規表示・非表示	「Ctrl」 + 「R」	「Command」 + 「R」
フルスクリーン表示	「F」	「F」
全画面表示	「Tab」	「Tab」

# よく使うショートカットキー

目的	Windows	Mac OS
コピー	「Ctrl」 + 「C」	「Command」 + 「C」
ペースト	「Ctrl」 + 「V」	「Command」 + 「V」
元に戻す	「Ctrl」 + 「Z」	「Command」 + 「Z」
1 段階ずつ進める	「Ctrl」 + 「Shift」 + 「Z」	「Command」 + 「Shift」 + 「Z」
1 段階ずつ戻す	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「Z」	「Command」 + 「Option」 + 「Z」
選択範囲と内容を 1 ピクセルずつ移動	「矢印キー」	「矢印キー」
選択範囲を 10 ピクセルずつ移動	「Shift」 + 「矢印キー」	「Shift」 + 「矢印キー」
選択範囲反転	「Ctrl」 + 「Shift」 + 「I」	「Command」 + 「Shift」 + 「I」
テキスト/シェイプから選択範囲作成	「Ctrl」 + 「レイヤーアイコンクリック」	「Command」 + 「レイヤーアイコンクリック」
選択解除	「Ctrl」 + 「D」	「Command」 + 「D」
自由変形	「Ctrl」 + 「T」	「Command」 + 「T」
テキスト編集モード終了	「Ctrl」 + 「Enter」	「Command」 + 「Enter」
新規レイヤー作成 ダイアログ画面なしで作成	「Ctrl」 + 「Shift」 + 「N」 「Ctrl」 + 「Alt」 + 「Shift」 + 「N」	「Command」 + 「Shift」 + 「N」 「Command」 + 「option」 + 「Shift」 + 「N」
選択レイヤーコピー	「Ctrl」 + 「J」	「Command」 + 「J」
レイヤーグループ作成	「Ctrl」 + 「G」	「Command」 + 「G」

# Web用の環境設定

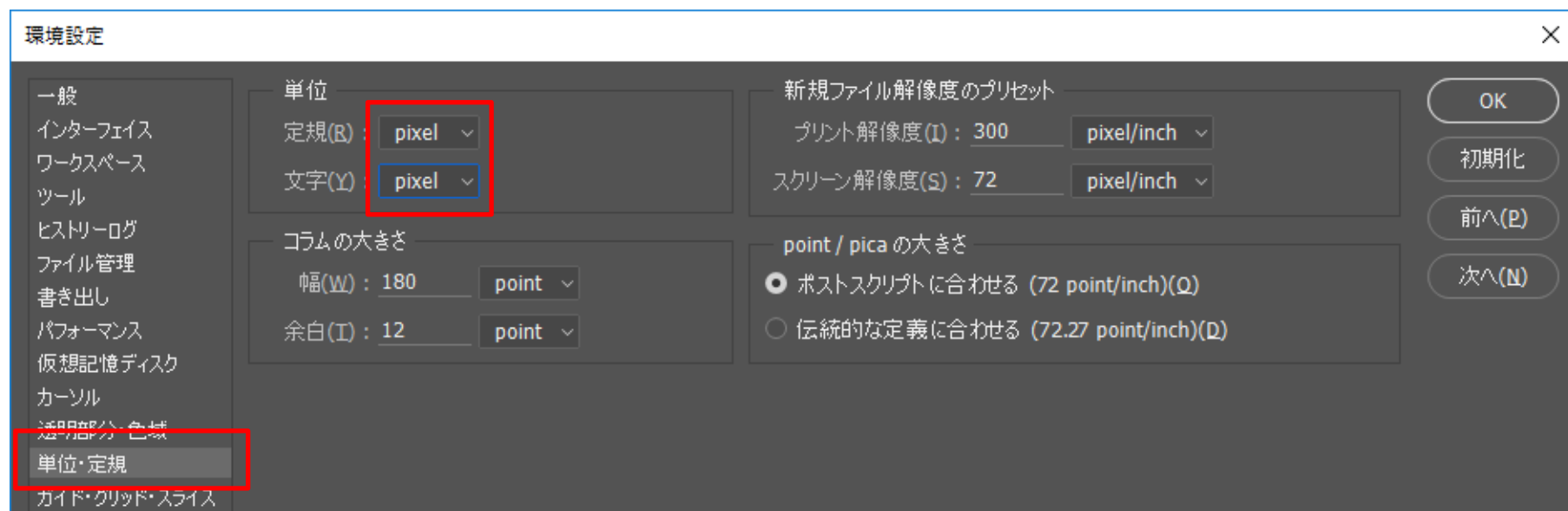
# サイズの単位を「pixel」に変更

メニューバー：「編集」>「環境設定」>「単位・定規」

環境設定 画面：

単位・定規

単位：定規「pixel」 文字「pixel」



# 新規作成

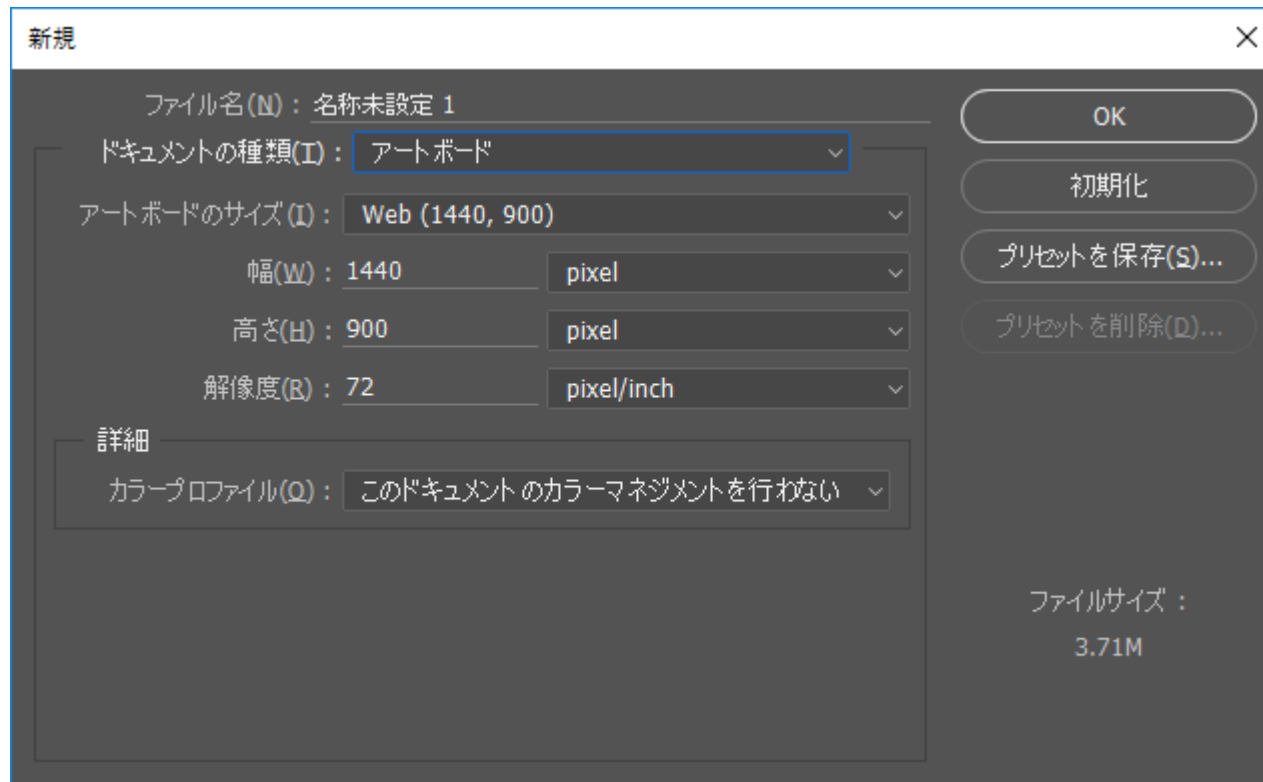
メニューバー：「ファイル」>「新規」

新規 画面：

ファイル名：名称未設定 1

ドキュメントの種類：アートボード

その他設定は初期値のまま「OK」クリック



# グリッドの設定

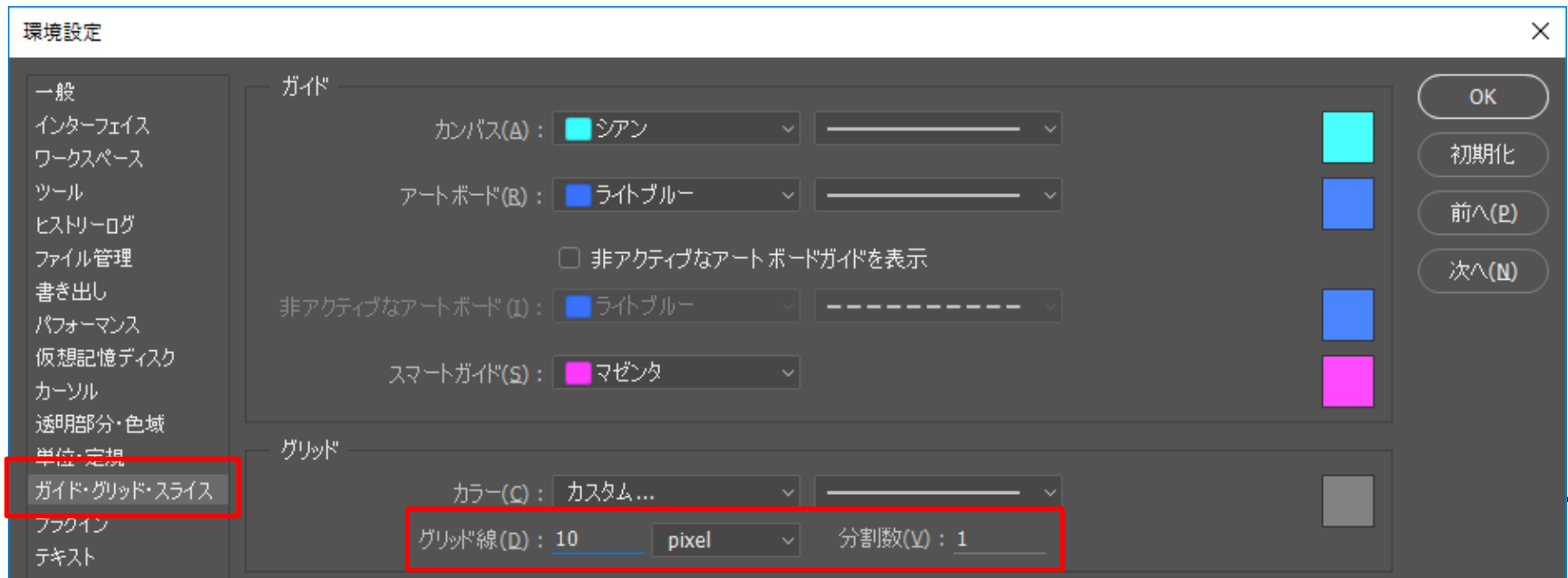
**メニューバー**：「編集」>「環境設定」>「ガイド・グリッド・スライス」

**環境設定 画面**：

ガイド・グリッド・スライス

グリッド：グリッド線「10pixel」 分割数「10」

※グリッドにスナップさせてガイドのx位置、y位置が小数になるのを防ぐ



# グリッドを表示

**メニューバー：**「表示」>「表示・非表示」>「グリッド」にチェック

Win「Ctrl」+「@」    Mac「command」+「@」

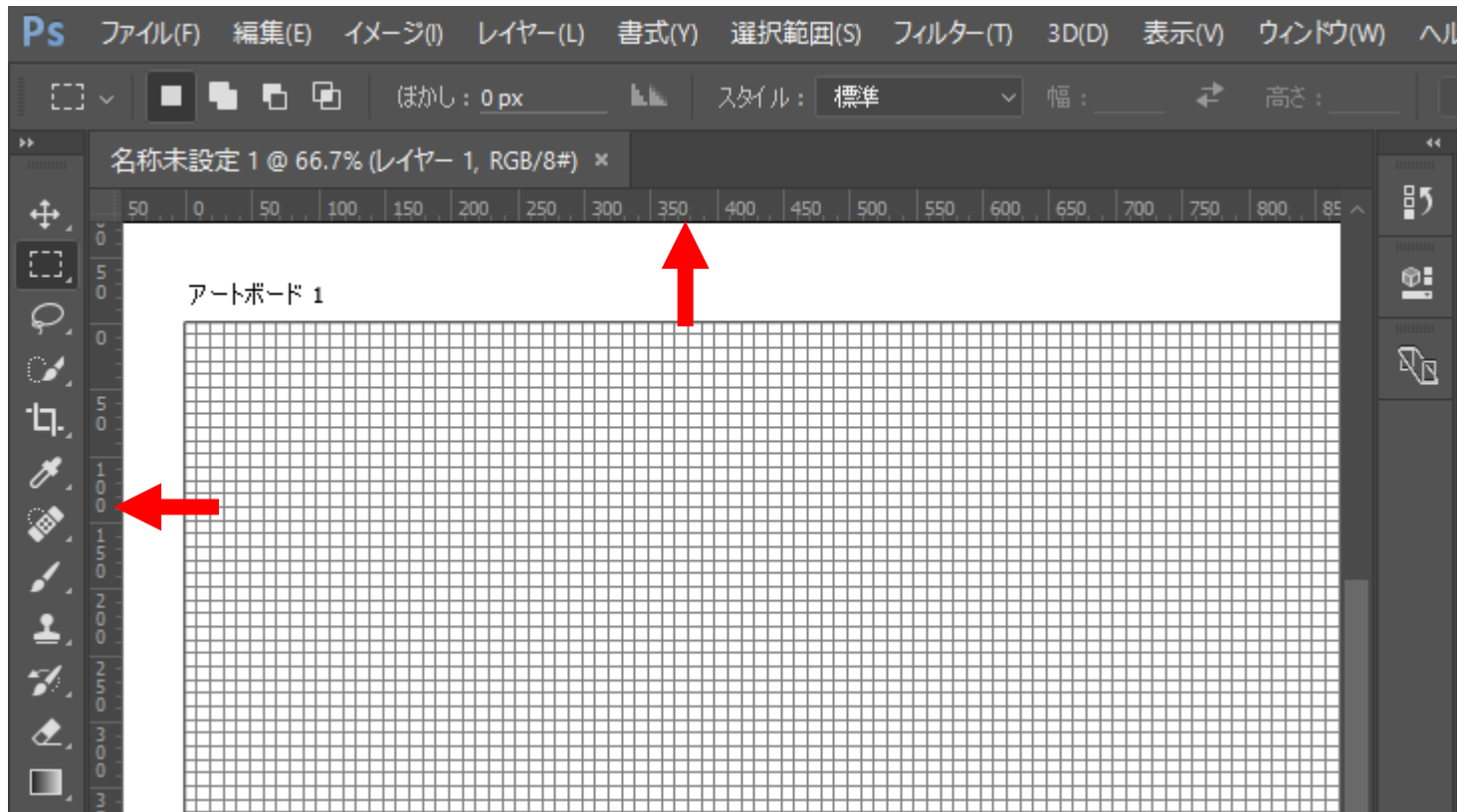




# 定規表示

**メニューバー：**「表示」>「定規」にチェック

Win「Ctrl」+「r」    Mac「command」+「r」



# ガイド表示

数値を設定してガイドを引く

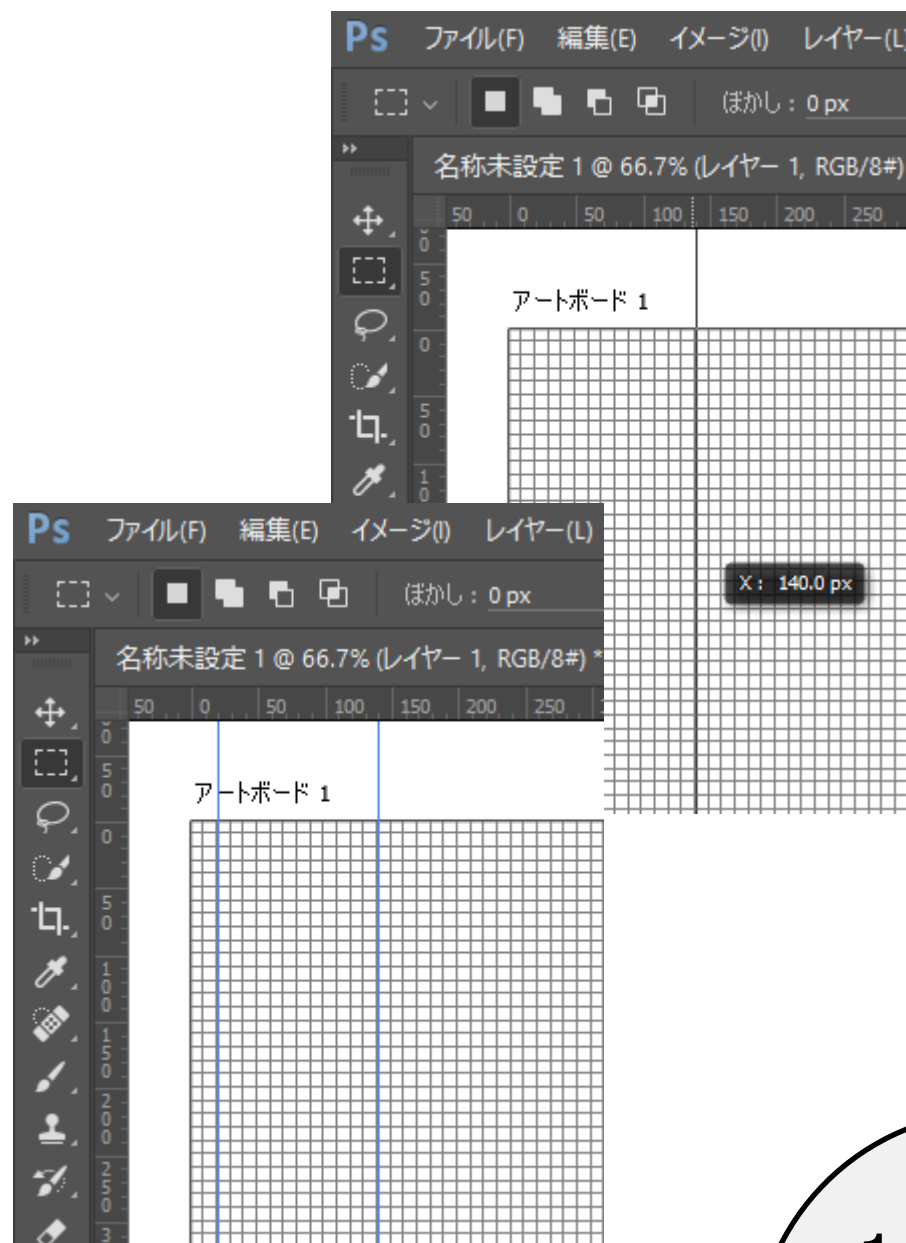
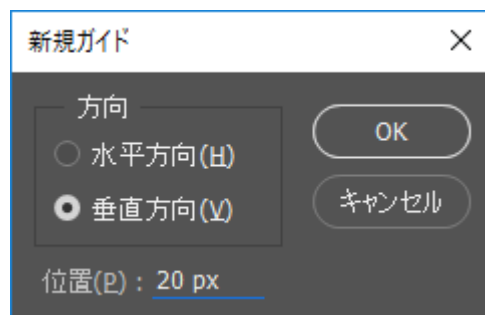
定規からドラッグしてガイド表示

メニューバー：「表示」>「新規ガイド」

新規ガイド 画面：

方向「選択」 位置「任意の数値」

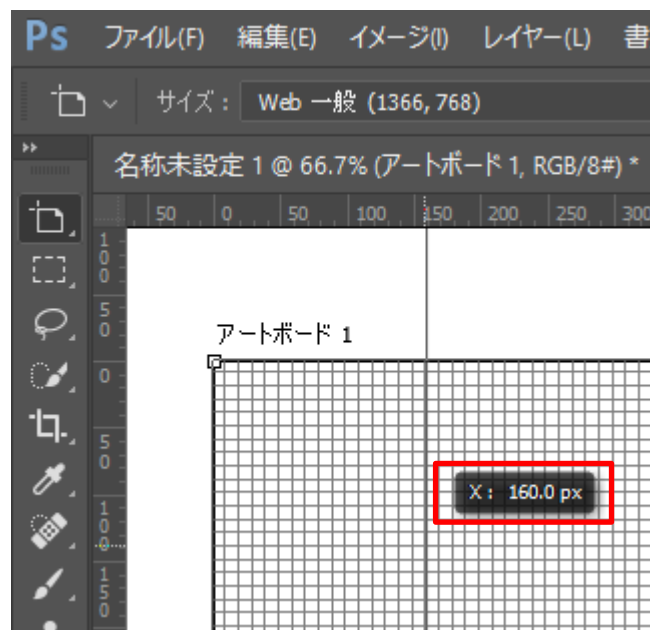
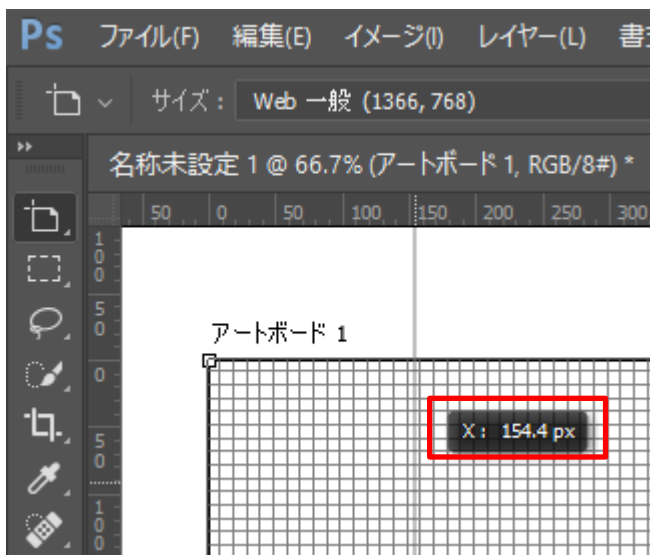
「OK」で確定



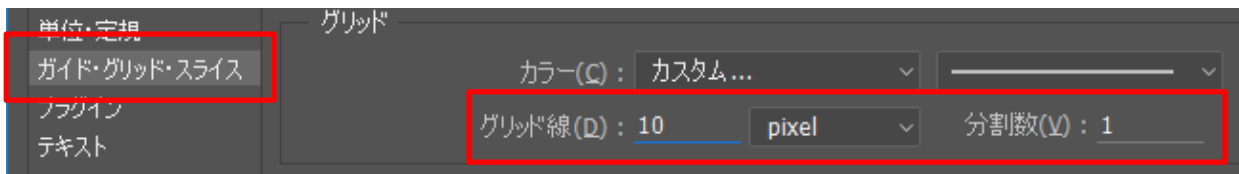
# グリッドにスナップ

**メニューバー**：「表示」>「スナップ」にチェック

グリッドにスナップさせることで小数を含む位置にガイドが配置されるのを防ぐことができる



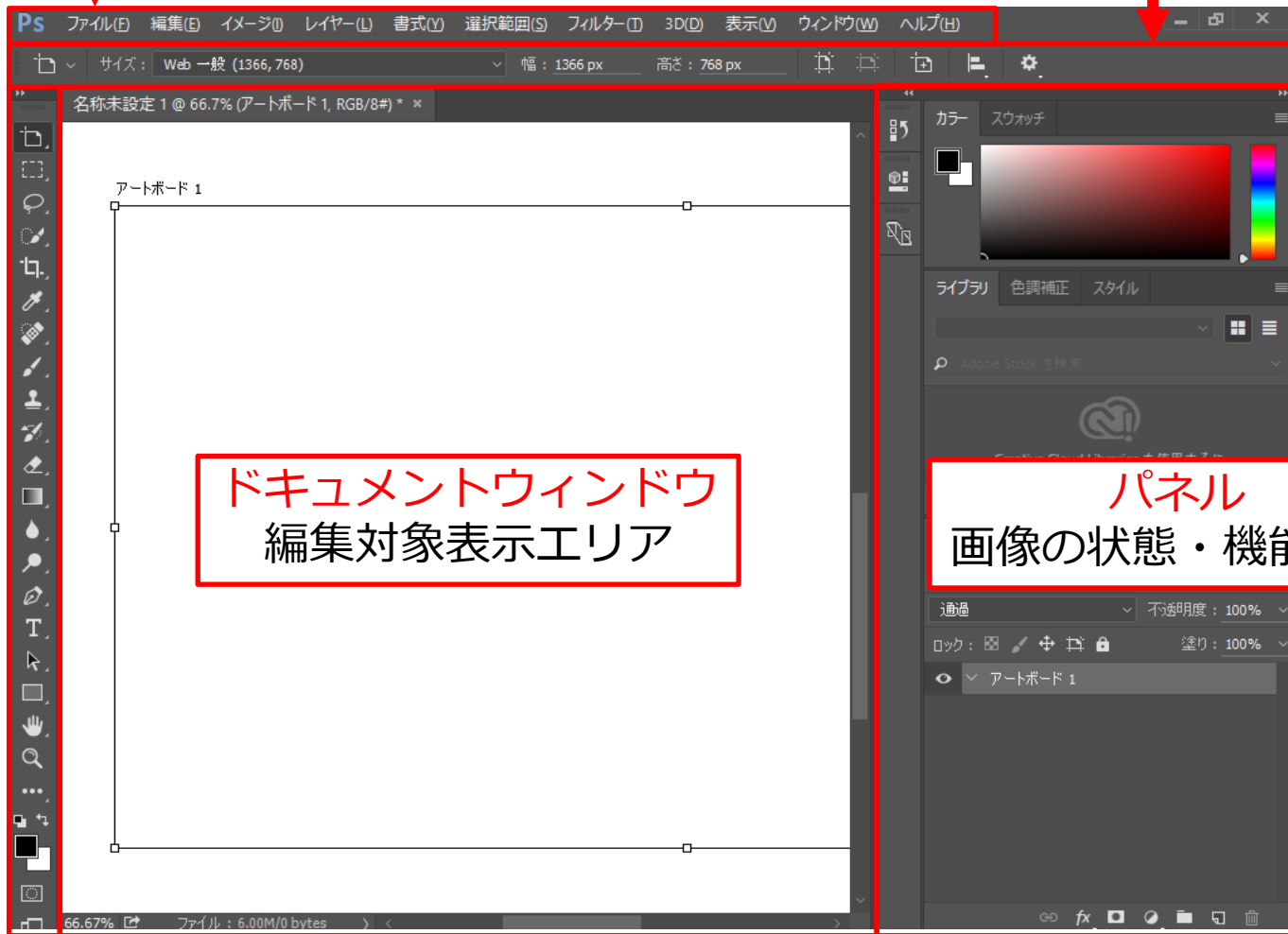
※環境設定「ガイド・グリッド・スライス」でグリッド線「10pixel」分割数「10」にスナップさせることでガイド位置が小数を含む値にならずにすむ



# ワークスペース

メニューバー：基本機能

オプションバー：現在選択ツールの詳細項目



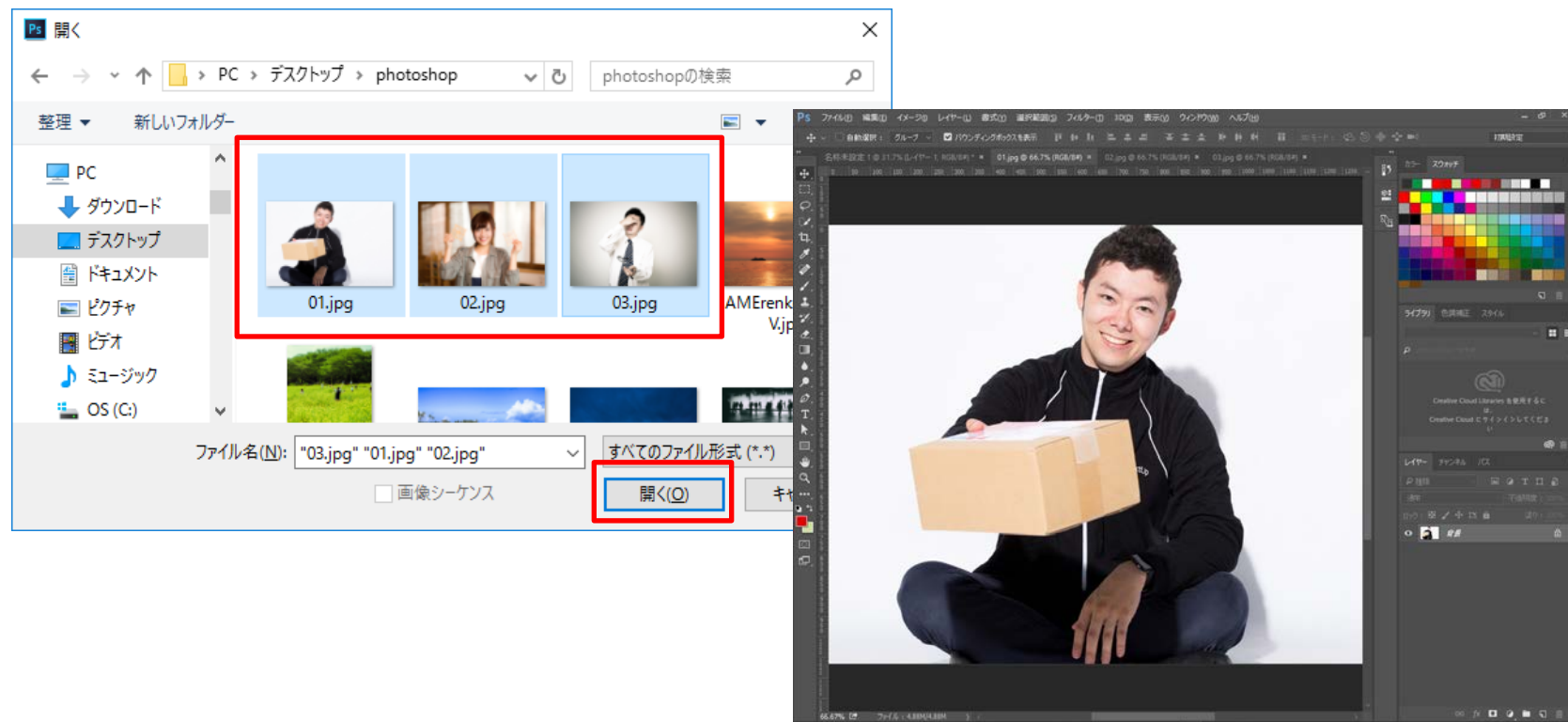
ツールパネル：編集用ツール群

## 編集したいファイルを開く

**メニューバー**：「ファイル」>「開く」

**開く 画面**：「対象ファイルを選択」>「開く」

※複数のファイルを開く時は「Shift」や「Ctrl」を押しながらファイルを選択



練習 1) グリッドを非表示にして「01.jpg」「02.jpg」「03.jpg」の3つのファイルを同時に開く

## タブで編集ファイルを切り替え

**ドキュメントウィンドウ：** 上部のタブを選択

練習 2) タブを切り替えてみる



## 複数フレームでファイルを同時に表示

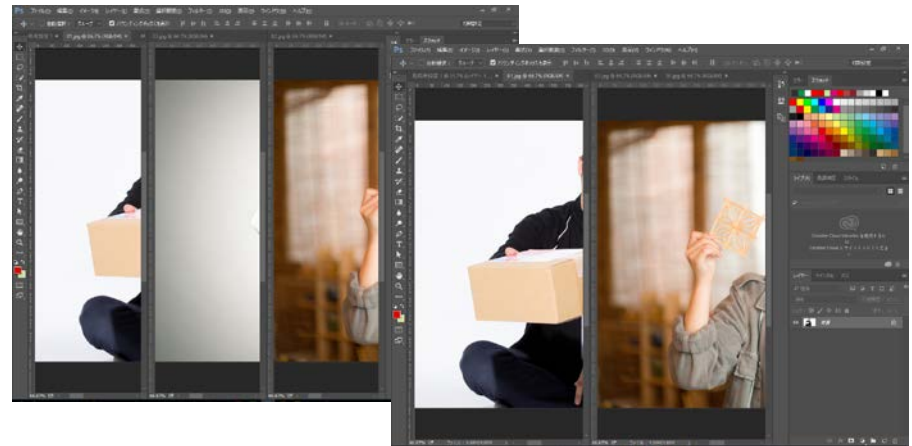
**メニューバー：** 「ウィンドウ」 > 「アレンジ」 > 「すべてを左右に並べる」 ~ 「6 アップ」

練習 3) 「ウィンドウ」 > 「アレンジ」 > 「3アップ縦」を選択

## 複数フレーム表示時にタブをグループ化

タブをグループ化したいウィンドウへ  
ドラッグアンドドロップ

練習 4) タブをグループ化して2アップに変更



## 単一フレームに戻す

**メニューバー：** 「ウィンドウ」 > 「アレンジ」 > 「すべてをタブに統合」

練習 5) 「ウィンドウ」 > 「アレンジ」 > 「すべてをタブに統合」を選択

# ステータスバー

## 表示倍率やファイルサイズを表示

練習 1) 「表示倍率ボックスをクリック」 > 「数値を入力」 > 「Enter」 で確定して変更

練習 2) 「表示倍率ボックスをクリック」 > 「マウスホイールをまわして数値を変更」 > 「Enter」 で確定して変更





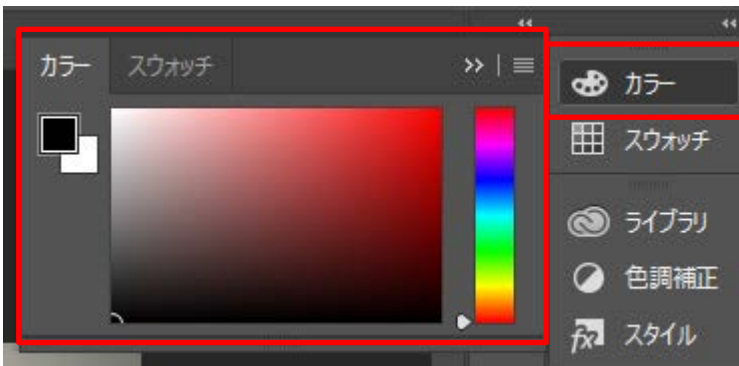
# パネルとドッグ

## パネル展開表示



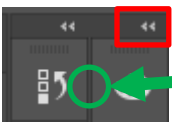
「▶▶」をクリックでパネルをアイコンと名前表示

## アイコンと名前表示



「アイコンと名前」クリックでパネル表示

## アイコン表示



「◀◀」をクリックでパネル展開表示

パネルの境界をドラッグすることでアイコンのみの表示  
ドキュメントウィンドウを広くとって作業可能

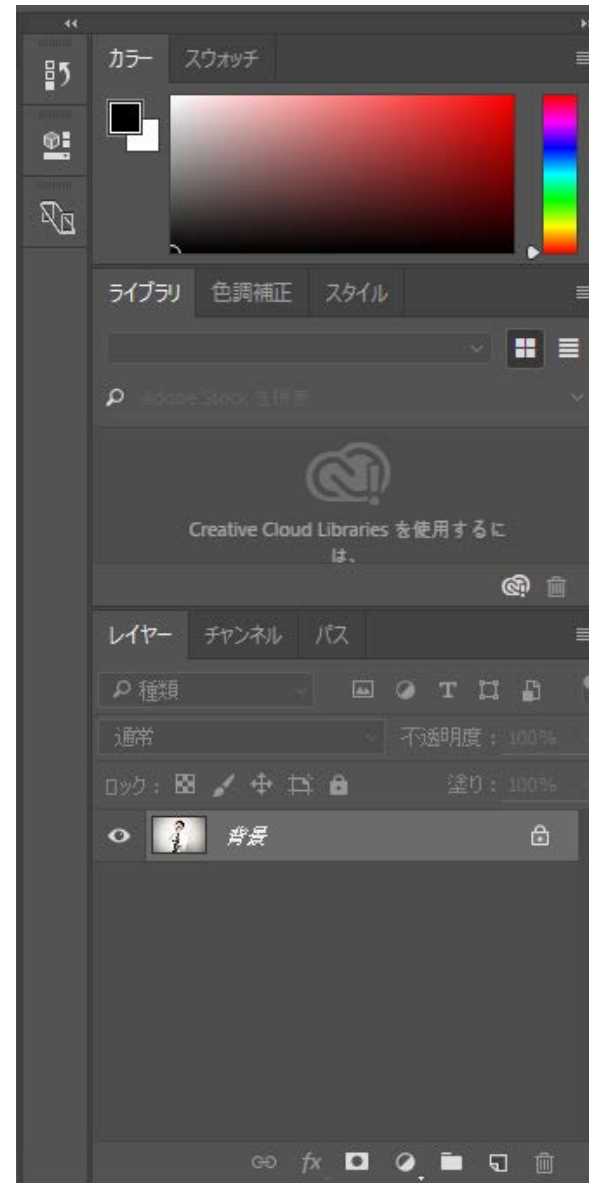
## パネルグループ

複数のタブを持つパネル

## ドッグ

複数のパネルまとめたパネルグループ

複数のタブ



複数のパネル

# パネルとドックのカスタマイズ

## 利用したいパネルをドックに追加

**メニューバー**：「ウィンドウ」>「必要なパネルを選択」

練習 1) ウィンドウ > アクション アクションパネルがドックに追加される

## パネルをパネルグループから独立させフローティングパネル化

タブを画面上にドラッグアンドドロップ

## フローティングパネルをドックに戻す

タブをドラッグしてドック上にドロップ

## パネルの最小化・展開

タブをダブルクリック

パネルの表示をカスタマイズして使いやすい環境を整える

# ファイルを保存

## ファイルを保存

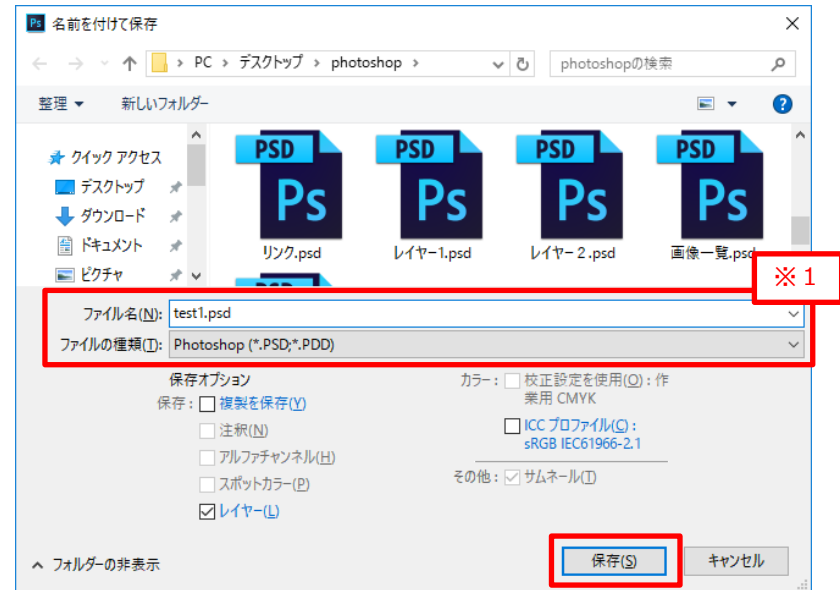
Photoshopの編集情報を含めて保存する場合は  
Photoshop形式である拡張子「.psd」で保存

**メニューバー：「ファイル」>「保存」**

**名前を付けて保存 画面：**

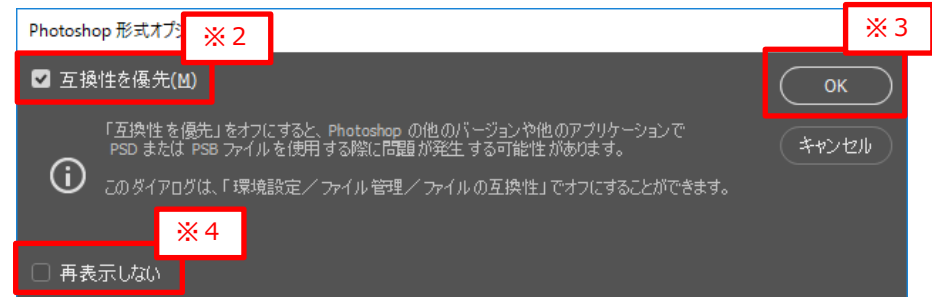
ファイル名「好きなファイル名をつける」※1

ファイルの種類「Photoshop (\*.PSD; \*.PDD)」



「保存」をクリック

S



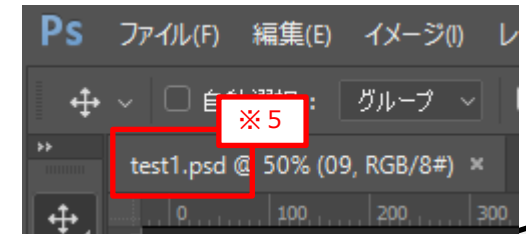
**Photoshop形式オプション 画面：**

「互換性を優先」※2 にチェックが入っていることを確認

「OK」※3 クリック

※互換性を優先：旧Photoshopで使用できる形式で保存

※この画面を今後表示させない場合は「再表示しない」※4 にチェック



ドキュメントウィンドウ上部のタブで新しくつけた名前（.psd 拡張子）になっていることを確認 ※5

# ファイルの配置

# リンク配置と埋め込み配置

**埋め込み配置（以前の配置）**：ファイルを読み込んで配置

**メリット**：リンク切れがない

**デメリット**：配置したファイル修正時は再配置しなければならない  
編集PSDファイルのサイズが大きくなる

**リンク配置（CC2014以降）**：ファイルの場所を指定して配置

**メリット**：配置したファイル修正時に自動更新  
編集PSDファイルのサイズが小さい

**デメリット**：リンク切れが起きる



※リンク切れとは：「編集PSDファイル」と「配置したファイル」の位置や名前が変わると起きる

- 例) ① PSDファイルや配置したファイルの保存先を変更した  
② ファイル名や拡張子を変更した  
③ ファイル名が長かったり、特殊文字や半角カナを使用した

# 画像を配置

## 既にかいているファイルに別の画像を配置する方法 1

**メニューバー：**「ファイル」>「埋め込み配置」/「リンク配置」

**配置 画面：**「目的の画像を選択」>「配置」

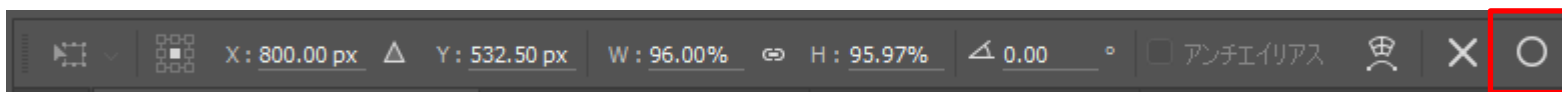
ドキュメントウィンドウ内に画像が配置される

配置された画像にハンドルが表示されているのでドラッグして大きさを調整

※「Shift」+「ドラッグ」で縦横比を維持しながら大きさ調整

画像上でドラッグして位置の調整

オプションバー：「○」で決定 or 「Enter」で決定



## 既にかいているファイルに別の画像を配置する方法 2

**埋め込み配置：**「ドキュメントウィンドウ内に画像をドラッグアンドドロップ」

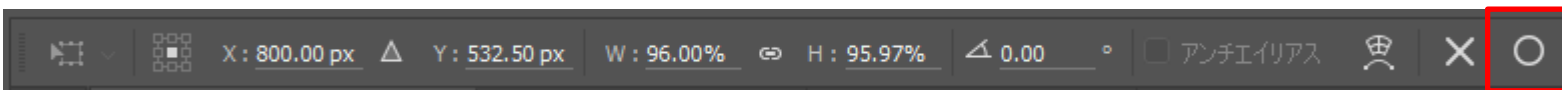
**リンク配置：**「Alt」+「ドキュメントウィンドウ内に画像をドラッグアンドドロップ」

配置された画像にハンドルが表示されているのでドラッグして大きさを調整

※「Shift」+「ドラッグ」で縦横比を維持しながら大きさ調整

画像上でドラッグして位置の調整

オプションバー：「○」で決定 or 「Enter」で決定



# ツール



# ツールの基本操作

## ツールとオプションバー

画面左側に配置されているのが「ツール」

Photoshopの基本的な機能の引き出しとして使用する

ツールに応じてマウスカースルが変化する

ツールの右下に小さな三角がある場合は隠れているツールがあることをあらわしている

ツールボタンを長押しすることで隠れているツールを表示・選択できる

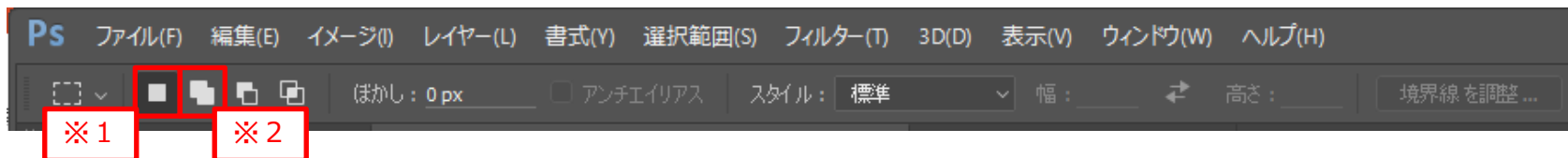
ツールパネル：長方形選択ツール「長押し」>「右側メニューに隠しツールが表示され選択可能」

選択したツールに応じて画面上部のオプションバーが変化する

オプションバーを使ってツールの詳細設定をおこなう

「新規選択」※1 をクリックして画面上をドラッグ：ドラッグするたびに新しく選択エリアが作成される

「選択範囲を追加」※2 をクリックして画面上をドラッグ：ドラッグするたびに選択エリアが追加される

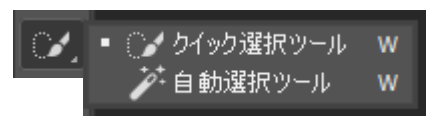
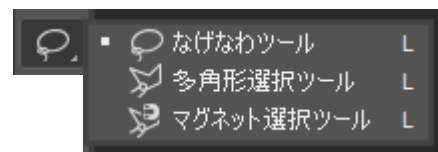
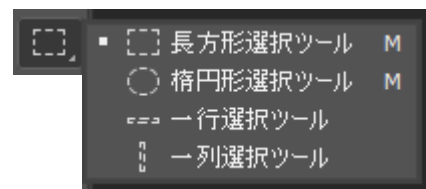
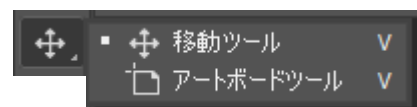


**メニューバー：**「選択範囲」>「選択範囲を解除」で選択範囲を解除

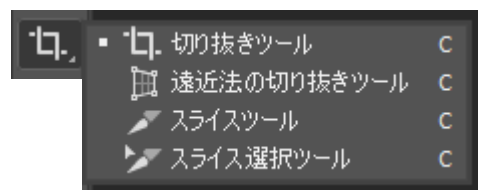
Win 「Ctrl」 + 「D」    Mac 「Command」 + 「D」



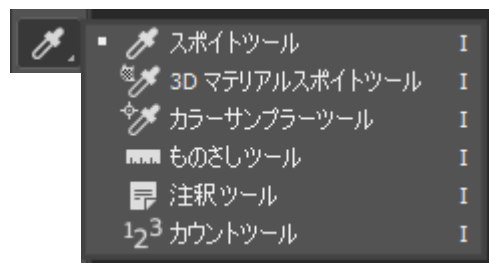
## 選択ツール



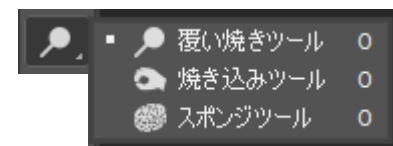
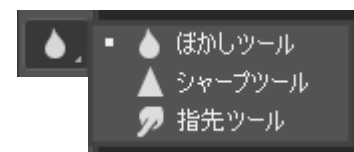
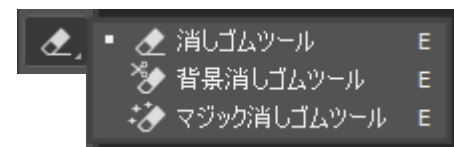
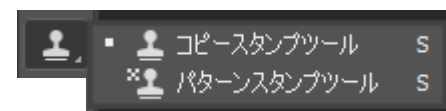
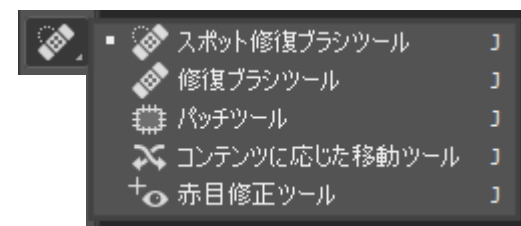
## 切り抜き・スライスツール



## 測定ツール



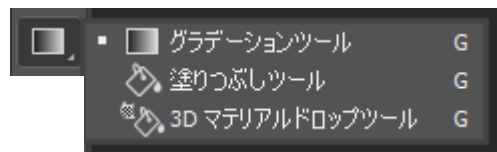
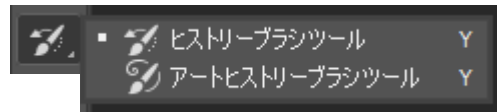
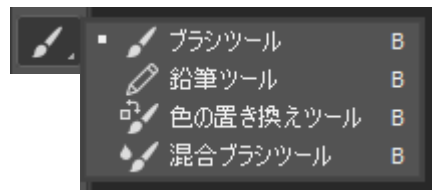
## レタッチツール



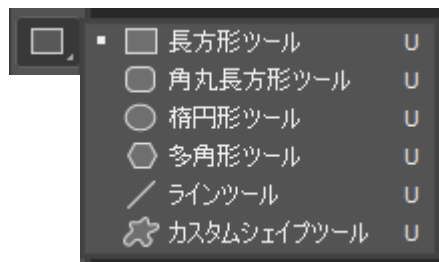
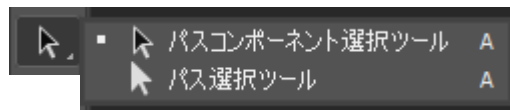
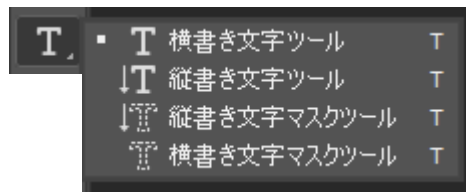
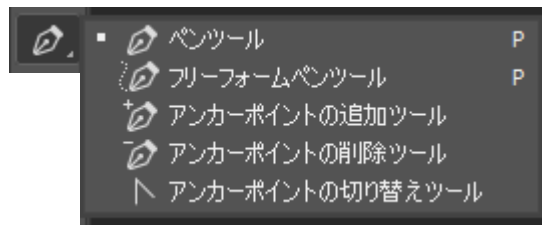
■ 初期設定ツール



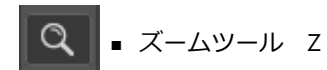
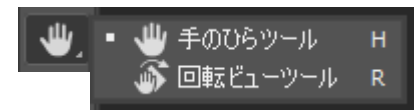
## ペイントツール



## ベクターツール



## ナビゲーションツール



■ 初期設定ツール

# ズームツール

**ショートカットキー：**「z」キー

「z」キーを押している間：一時的にズームツール切り替え

**拡大：**「クリック」、「クリック&ホールド」

Win「Ctrl」 + 「+」 Mac「command」 + 「+」

**縮小：**Win「Alt」 + 「クリック」、「Alt」 + 「クリック&ホールド」、「Ctrl」 + 「-」

Mac「option」 + 「クリック」、「option」 + 「クリック&ホールド」、「command」 + 「-」

**オプションバー：**「スクラブズーム」にチェック

画像内で左右にドラッグして拡大・縮小

**オプションバー：**「スクラブズーム」にチェックをはずす

拡大したい箇所をドラッグして範囲指定拡大

**オプションバー：**「画面にフィット」をクリック

画像が現在のドキュメントウィンドウにフィットするように拡大・縮小される

**オプションバー：**「100%」をクリック

画像が100%の大きさで表示される

# ハンドツール

## ドキュメントウィンドウ内の表示位置変更

ハンドツールを選択：ドキュメントウィンドウをドラッグでパン移動

**ショートカット：**「h」キー

「スペース」キーを押している間：一時的にハンドツールに切り替わる

レイヤー

# レイヤーの概念

新規レイヤーや既存レイヤーの複製をしながら作業することで元画像のデータを保ちながら作業することができる

## レイヤーの概念

ドキュメントウィンドウ上に積み重ねた透明フィルムのようなもの

各レイヤーにブラシで描画したり、文字を配置したり、効果を与えたりできる

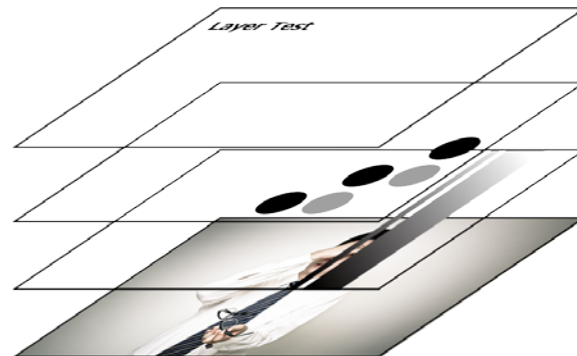
レイヤー上の何も描かれていない領域は透明として扱われ下のレイヤーが透けて表示される

各レイヤーは独立しており個別に処理する

## 画像を開いた時のレイヤーの初期状態

画像は背景レイヤーとして扱われロックされた状態

練習) 「01.jpg」を開く



# レイヤーの基本操作

## 移動ツール

「自動選択」のチェックが外れた状態での解説



練習) 「レイヤー 1.psd」を開く

## レイヤーパネル

ドキュメントウィンドウ内のレイヤーを操作するパネル

## レイヤーパネル

## レイヤーの移動：移動ツール

レイヤーパネルで対象レイヤーを選択してドラッグアンドドロップ

**メニューバー：**「レイヤー」>「重ね順」>「最前面へ～最背面へ」

最前面へ：Win「Ctrl」+「Shift」+「[」 Mac「command」+「Shift」+「[」

前面へ：Win「Ctrl」+「[」 Mac「command」+「[」

背面へ：Win「Ctrl」+「]」 Mac「command」+「]」

最背面へ：Win「Ctrl」+「Shift」+「]」 Mac「command」+「Shift」+「]」

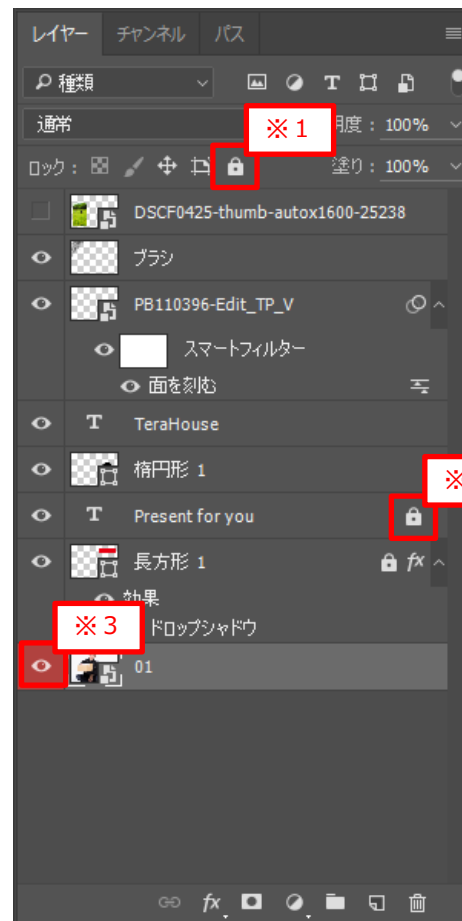
## レイヤーのロック・ロック解除

対象レイヤーを選択 > パネル上部の「ロックアイコン」をクリック ※1

ロック解除：対象レイヤーの「ロックアイコン」をクリック ※2

## レイヤーの表示・非表示

レイヤーパネル左の「目」アイコンをクリック ※3



レイヤーに分けることで他の画像に影響を与えることなく作業が行える



# レイヤーの基本操作

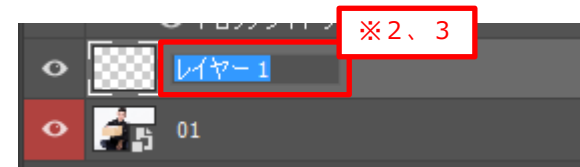
## 新しいレイヤーの追加

レイヤーパネル下の「新規レイヤー追加」アイコンをクリック ※1  
選択していたレイヤーの上に新しいレイヤーが追加される



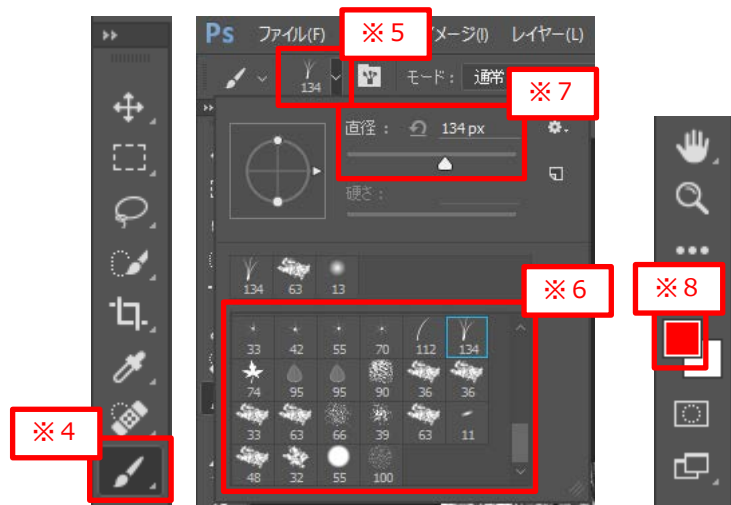
## レイヤーに名前をつける

レイヤーパネルのレイヤー名をダブルクリックして名前を変更 ※2



## レイヤーにブラシツールで変更を加える

- 対象レイヤーを選択 ※3
- ブラシツールを選択 ※4
- ブラシプリセットピッカーを開く ※5
- 好きなブラシプリセットを選択 ※6
- ブラシの直径を変更 ※7
- 描画色のスウォッチをクリックしカラーピッカーから好きな色を選択 ※8
- ドキュメント上でドラッグしてペイント ※9
- 選択したレイヤーにペイントによる変更が加えられる ※10



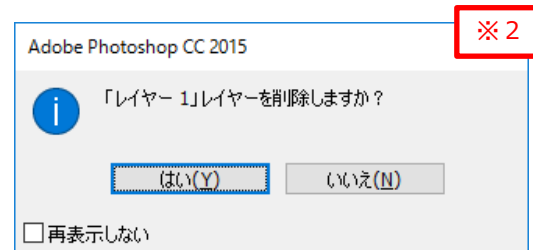
## レイヤーの表示・非表示で他のレイヤーに影響がないことを確認

今回変更を加えたレイヤーの「目」アイコンで非表示にして確認

# レイヤーの基本操作

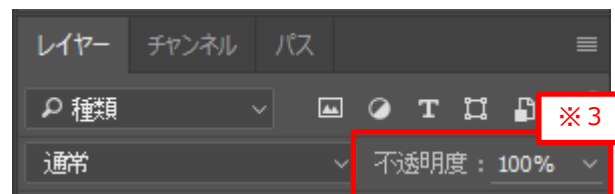
## レイヤーの削除

対象レイヤーを選択しパネル下の「レイヤーを削除」アイコンをクリック ※1  
削除確認画面が表示されるので「はい」を選択 ※2



## レイヤーの不透明度を変更

対象レイヤーを選択しパネル右上「不透明度」の「▼」をクリックし不透明度を変更 ※3  
透明 0% ~ 100% 不透明



## レイヤーのグループ化

パネル下の「新規グループ作成」アイコンをクリックしグループフォルダを作成 ※4  
グループフォルダの名前をダブルクリックし名前を変更  
対象レイヤーを選択し作成したグループフォルダの上にドラッグアンドドロップ  
複数レイヤーの選択 : Win「Ctrl」 Mac「command」を押しながら対象レイヤーを選択



## グループ化したレイヤーをたたむ・展開

フォルダアイコン左の「▼」or「▶」をクリック ※5



# 練習

練習) 「01.jpg」を開く

## 新規レイヤーの作成

レイヤーパネル下の「新規レイヤー追加」アイコンをクリック

メニューバー：「レイヤー」>「新規」>「レイヤー」

新規レイヤー 画面：

レイヤー名「black」を記述して「OK」ボタンをクリック ※1  
レイヤーパネルに新規レイヤーが表示される

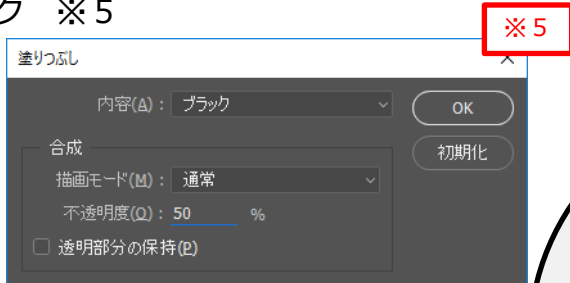
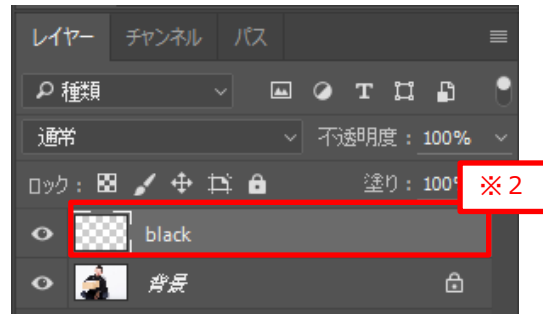
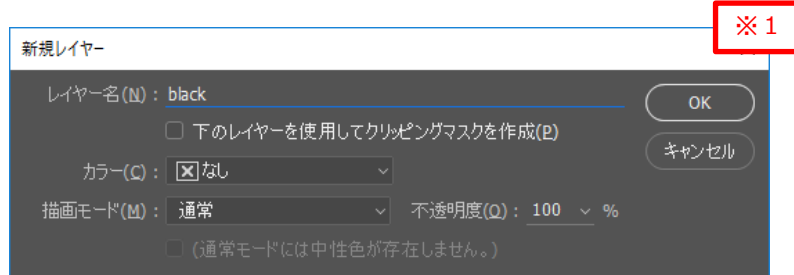
レイヤーパネルのblackレイヤーを選択し ※2 長方形選択ツールで ※3  
画像の左半分を選択 ※4

※作業するレイヤーを選択してから操作する

メニューバー：「編集」>「塗りつぶし」

塗りつぶし 画面：

使用「ブラック」不透明度「50%」に設定して「OK」ボタンをクリック ※5  
選択範囲 > 選択範囲を解除



# レイヤーの描画モード

練習) 「02.jpg」を開く

## レイヤーの作成

**ツール:** 「楕円形ツール」 ※ 1 を使って○が描かれたレイヤーを作成

## 塗りの変更

対象レイヤーを選択し ※ 2 パネル上部「塗り」の数値を「90%」に変更 ※ 3

## レイヤー描画設定リストの変更

ベースとなる下のレイヤーを基本にして重ねたレイヤーの色をブレンドする  
描画モードや重ねるピクセルの明るさで効果が違う

対象レイヤーを選択し「レイヤー描画設定リスト」から選択 ※ 4

ディザ合成: 塗りの数値によって変化するノイズ

比較(暗): 重ねた画像のうち暗いピクセルを表示

乗算: 下のレイヤーの基本色の情報に上のレイヤーの合成色かけ合わせる(重なった色がなじむように暗くなる)

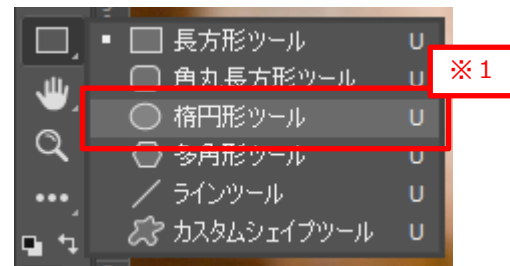
焼き込みカラー: 下のレイヤーに焼き込む効果(乗算よりも暗い効果)

スクリーン: 合成色をブレンドして明るさを強調

オーバーレイ: 乗算とスクリーンを合わせたような効果(ハイライトは明るく・シャドウは暗く)

ソフトライト: 合成色の明るさに応じて柔らかいスポットライトで照らしたような効果

ハードライト: 画像を強いスポットライトで照らしたような効果(完全な白・黒はそのまま表示)



# レイヤーのリンク設定

複数のレイヤーを使用している場合、関連レイヤーをリンクさせると移動や整列がスムーズに行える

例えばレイヤーを移動させる際に関連するレイヤーも一緒に動くことが便利

練習) 「リンク.psd」を開く

## レイヤーのリンク設定

複数の対象レイヤーを選択 ※1

※「Shift」キー、「Ctrl」キーで複数レイヤーを選択

パネル下部の「レイヤーリンク」アイコンをクリック ※2

レイヤー右側に「リンク」アイコンが表示される ※3

リンクした対象レイヤーを一つだけ選択し移動ツールを選ぶ

選択したのは一つのレイヤーだがリンクされた他の対象レイヤーも一緒に移動する

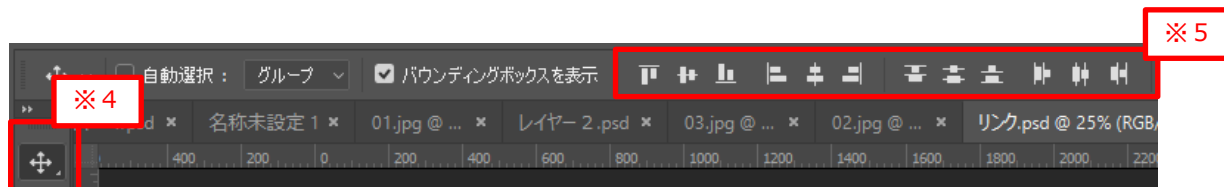
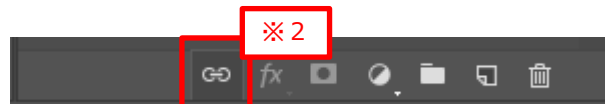
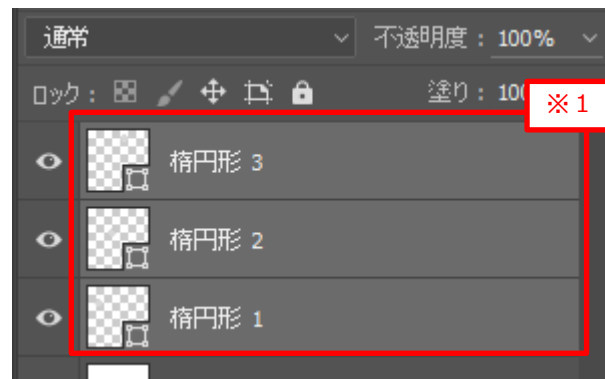
リンク機能を使用すると「整列」や「間隔調整」にも使用可能

## リンク設定したレイヤーの間隔調整

リンクした対象レイヤーを選択し移動ツールを選ぶ ※4

オプションバーから「垂直方向中央を分布」をクリック ※5

※リンク設定していないレイヤーでも、対象レイヤーを複数選択すれば「揃え」「分布」させること可能



# レイヤーのグループ化

複数のレイヤーをフォルダにまとめてグループ化することで描画モードや透明度、レイヤー効果などの処理を一括実行できる

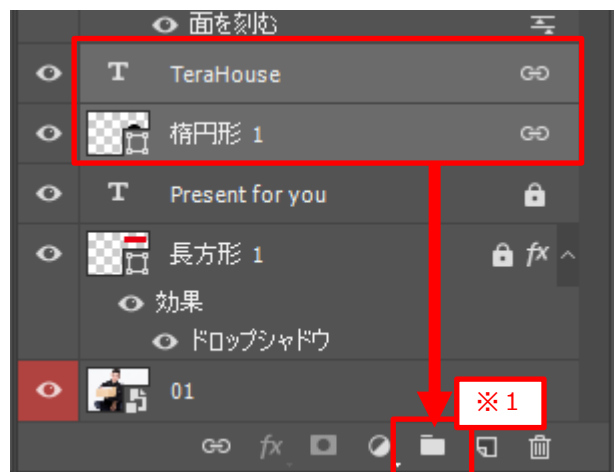
練習) 「レイヤー 1.psd」を開く

## レイヤーのグループ化

複数の対象レイヤーを選択しパネル下部の「新規グループ作成」アイコンにドラッグアンドドロップ ※1

※「Shift」キー、「Ctrl」キーで複数レイヤーを選択

「グループ 1」という名前のレイヤーフォルダが作成され対象レイヤーがフォルダ内にグループ化される  
グループ名をダブルクリックしグループの名前をわかりやすく変更する ※2



# レイヤーのグループ化

## グループ化したレイヤーの移動

レイヤーフォルダを選択 ※1

移動ツールを選ぶ ※2

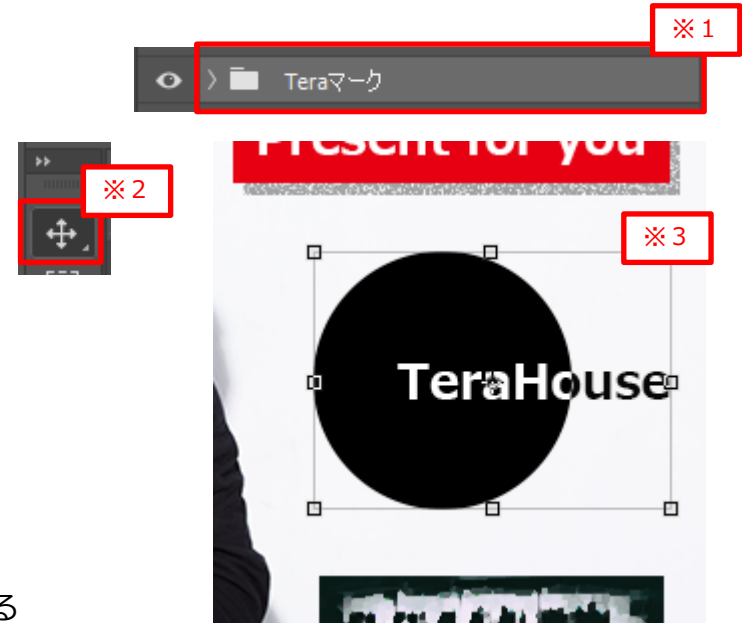
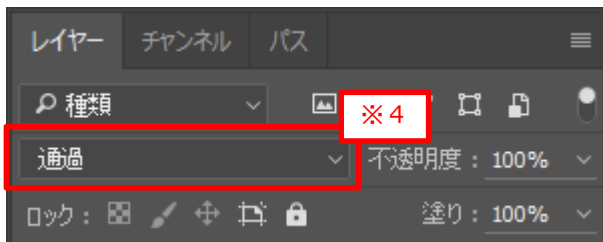
ドキュメントウィンドウ上をドラッグアンドドロップ ※3

## グループ化したレイヤーの描画モード変更

レイヤーフォルダを選択しパネル上部の描画モードを選ぶ ※4

※初期設定は「通過」

グループ化されたすべてのレイヤーに選択した描画モードが適用される



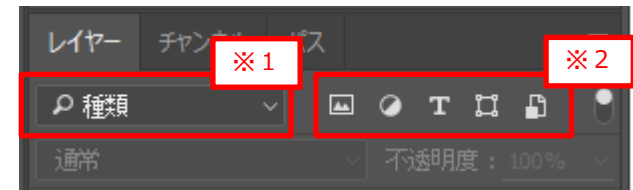
# レイヤーパネルの検索機能

増えていくレイヤーから目的のレイヤーを素早く的確に検索

練習) 「レイヤー 1.psd」を開く

## フィルタリングオプション

レイヤーパネル上部のフィルタリングオプションから項目を選択  
選択した項目 ※ 1 によって右側アイコン ※ 2 が変化する

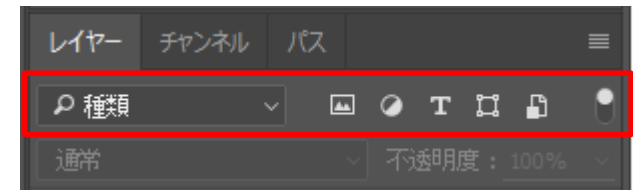


「種類」を選択

リスト右側に各種レイヤー用アイコンが表示される

「ピクセルレイヤー用フィルタ」「テキストレイヤー用フィルタ」等  
フィルタアイコンをクリックすると該当レイヤーのみ表示される

※複数アイコンをクリックして表示することも可能

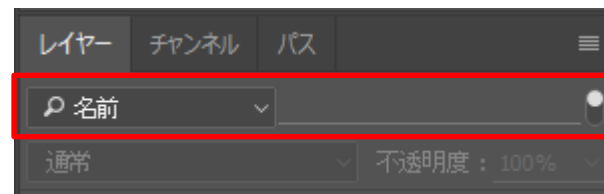


「名前」を選択

リスト右側に検索フィールドが表示される

レイヤー名を入力して検索

入力した文字を削除すると検索前の状態に戻る

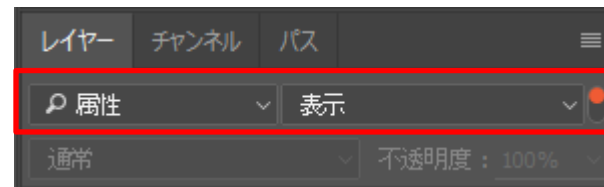


「属性」を選択

リスト右側に属性用リストが表示される

選択した属性に該当するレイヤーが表示される

例) 「空白」を選択して不要レイヤーの削除等





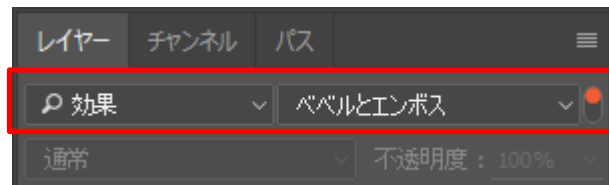
# レイヤーパネルの検索機能

## フィルタリングオプション

「効果」を選択

リスト右側に効果用リストが表示される

選択した効果を適用しているレイヤーが表示される



「モード」を選択

リスト右側に属性用リストが表示される

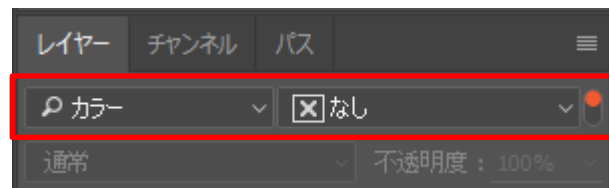
選択した描画モードを適用しているレイヤーが表示される



「カラー」を選択

リスト右側にカラー用リストが表示される

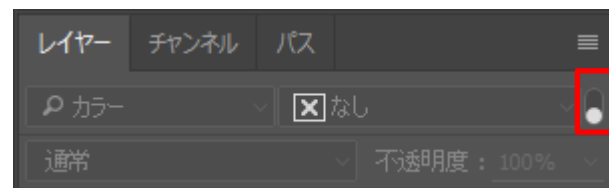
選択したカラーを指定したレイヤーが表示される



## フィルタリングオプションをOFFにする

レイヤーパネル右上のフィルタリングオプションスイッチをクリック

フィルタリングオプションをOFFにすると対象機能がグレースアウトされる



# 調整レイヤー

# 調整レイヤーの基本操作

## 調整レイヤー機能

元の画像情報を維持したまま画像補正することができる

**パネルグループ**：色調補正

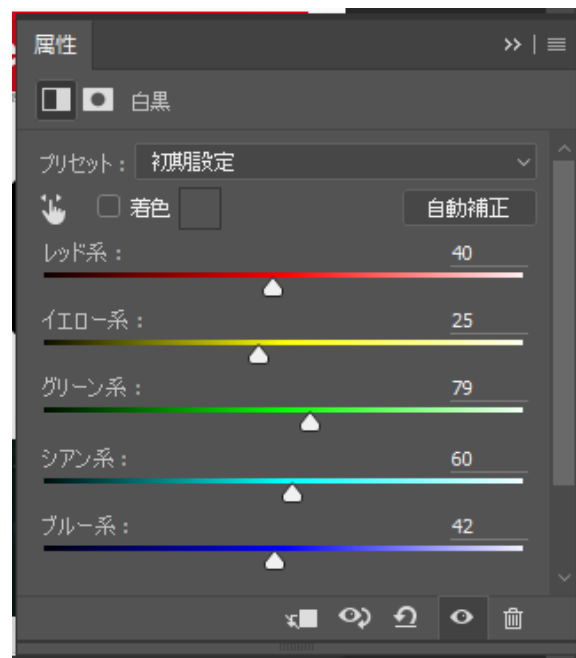
※色調補正パネルが表示されていない場合 **メニューバー**：「ウィンドウ」>「色調補正」

色調補正パネルでは16種類の調整レイヤーを使用できる

白黒 ※1：画像が白黒に変化

選択した調整レイヤーの属性画面が表示され細かい設定ができる

属性画面：特定色の明度調整

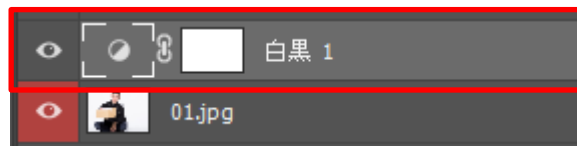


**パネルグループ**：レイヤー

元画像の上に「白黒 1」調整レイヤーが追加されている

レイヤーの表示・非表示で元画像情報が維持されていることを確認

一旦「白黒 1」調整レイヤーを非表示にする



# 調整レイヤーの基本操作

## 調整レイヤー機能

**パネルグループ**：色調補正

トーンカーブ ※2：画像の色調や明るさを変えることができる

**属性画面**：トーンカーブ調整

例) コントラストを強める

右上の明るい部分を上に（より明るく）左下暗い部分を下に（より暗く）→トーンカーブS字でコントラスト強に変更

ポイント追加：トーンカーブをクリック

ポイント削除：削除ポイントを属性画面外にドラッグ もしくは

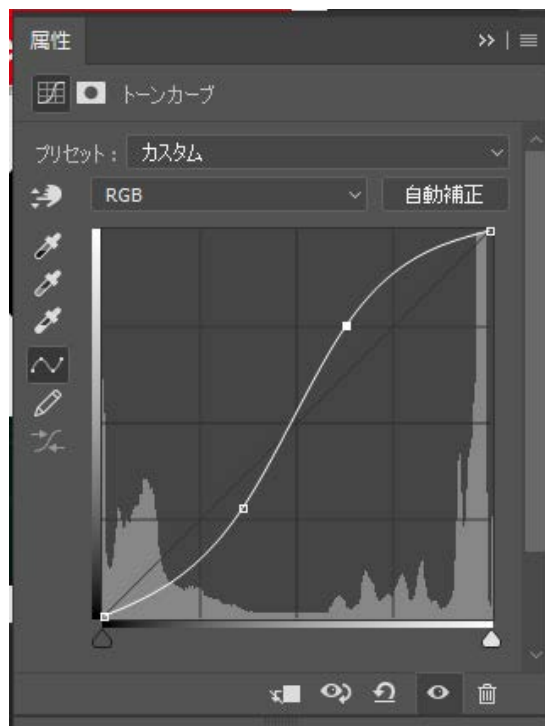
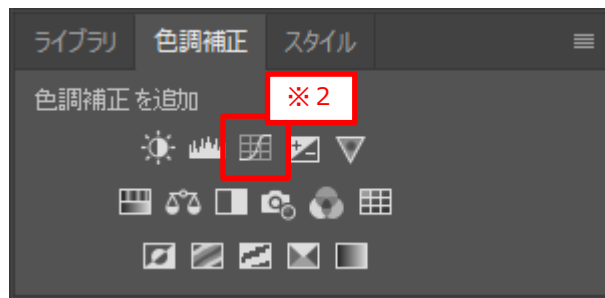
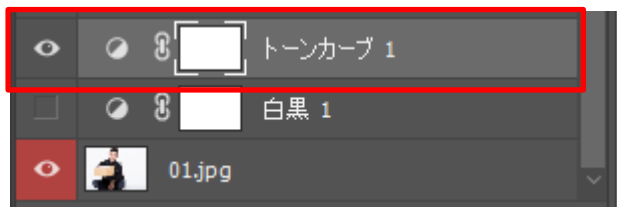
Win「Ctrl」+「クリック」 Mac「command」+「クリック」

**パネルグループ**：レイヤー

元画像の上に「トーンカーブ 1」調整レイヤーが追加されている

レイヤーの表示・非表示で元画像情報が維持されていることを確認

一旦「トーンカーブ 1」調整レイヤーを非表示にする



# 調整レイヤーの基本操作

## 調整レイヤー機能

**パネルグループ**：色調補正

カラールックアップ ※3：プリセットを選択して様々なエフェクトをかける

**属性画面**：プリセット指定

フィルムエフェクト等がかかることができる

パネルグループ：レイヤー

元画像の上に「カラールックアップ 1」調整レイヤーが追加されている



調整レイヤーの不透明度の設定

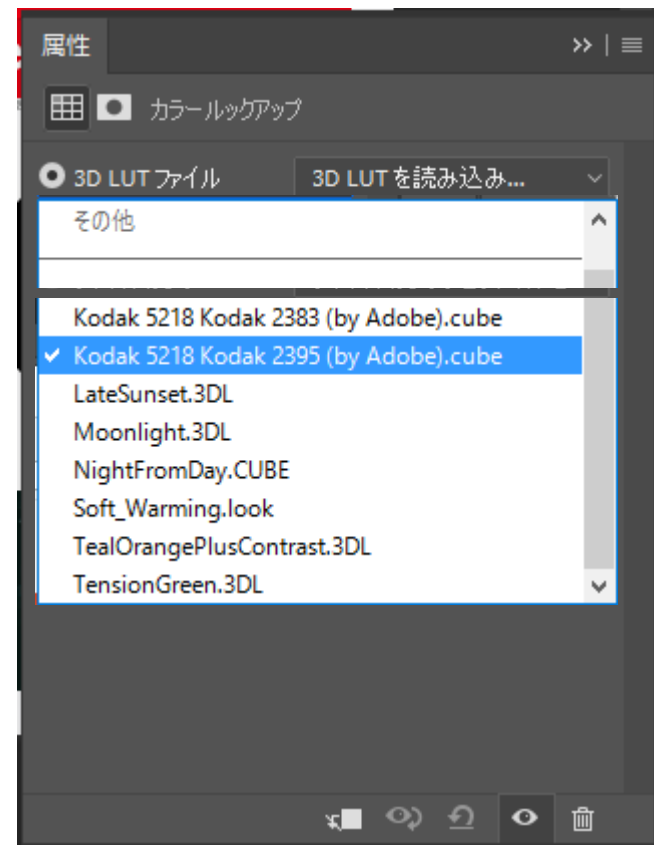
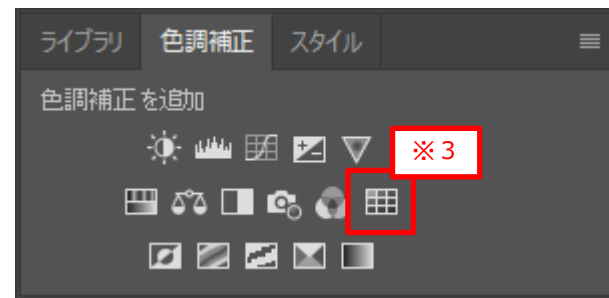
対象の調整レイヤーを選択

レイヤーパネル上部の不透明度を変更

描画モードの設定

乗算等を選択

このように元画像と調整レイヤーを組み合わせることで画像作成可能



# 調整レイヤーの基本操作

## 調整レイヤー削除：方法 1

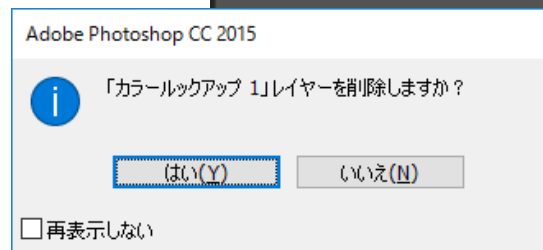
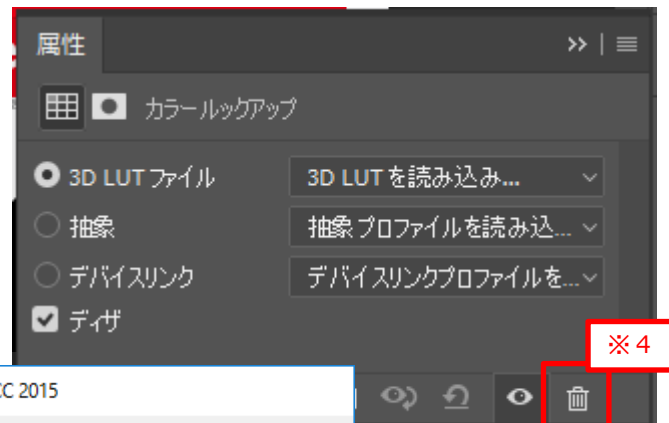
**パネルグループ：**レイヤー

削除対象の調整レイヤーをクリック

**属性画面：**

パネル右下「この調整パネルを削除」をクリック ※ 4

削除画面「はい」をクリック



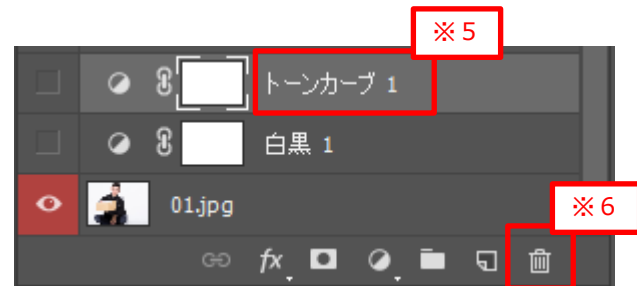
## 調整レイヤー削除：方法 2

**パネルグループ：**レイヤー

レイヤー左のレイヤー名を選択 ※ 5

パネル右下「レイヤーを削除」ボタンをクリック ※ 6

削除確認画面「はい」をクリック



調整レイヤーは元画像に影響を及ぼさないので複数作成して効果を重ねることができる

様々な調整レイヤーを作成したり、組み合わせたり、順番を変更することで表現力豊かな画像を作成できる

# フィルター

# フィルターの適用

## フィルター適用

フィルターは画像全体あるいは選択範囲に適用される

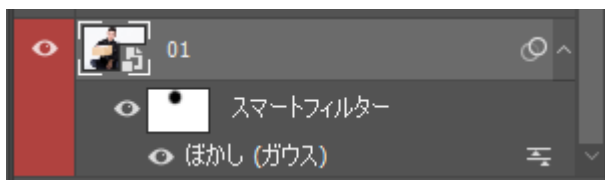
練習) 「01.psd」を開く

1. フィルターを適用するレイヤーを選択：人物レイヤー
2. ツール：楕円形選択範囲
3. **オプションバー**：ぼかし「100px」
4. 顔の部分に選択範囲を指定
5. 選択範囲反転：Win「Ctrl」 Mac「command」 + 「Shift」 + 「i」
6. **メニューバー**：「フィルタ」 > 「ぼかし」 > 「ぼかし（ガウス）」

ぼかし（ガウス）画面で半径の値を変更

※プレビューにチェックするとドキュメントウィンドウ上でリアルタイムに確認可能

7. 「OK」ボタンでフィルター適用完了
8. 選択範囲解除：Win「Ctrl」 Mac「command」 + 「d」



※スマートフィルター：スマートオブジェクトに適用されたフィルター  
元画像を変更せずにフィルターの適用や調整ができる



# フィルターギャラリーの適用

## フィルターギャラリー適用

多様なフィルタを一覧で確認しながら使用できる

1. **メニューバー**：フィルタ > フィルターギャラリー
2. **フィルターギャラリー画面**

※見やすいように画面サイズ調整 左下の拡大・縮小調整

下記6つのカテゴリ内のサムネイルをクリックしてフィルター適用

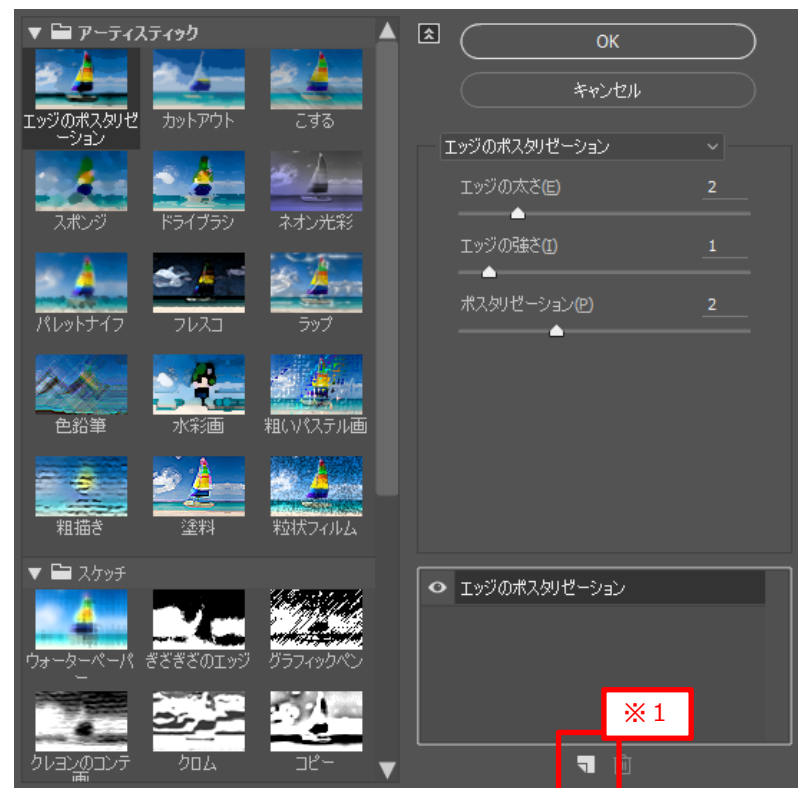
- ・アーティスティック
- ・スケッチ
- ・テクスチャ
- ・ブラシストローク
- ・表現手法
- ・変形

右側スライダーで細かな調整可能

3. フィルタは重ねて適用可能

右下の「新しいエフェクト」アイコンをクリック ※1  
新しいエフェクトを選択して適用

4. 「OK」ボタンをクリックしてフィルター適用完了



# スマートシャープ

## スマートシャープ適用

画像内容を解析しメインの被写体とそれ以外を分けた上で必要な部分のみを自然に鮮明化する  
対象を選択したり、マスクを作成する必要なし

1. **メニューバー**：フィルタ > シャープ > スマートシャープ

2. **スマートシャープ画面**

※見やすいように画面サイズ調整 左下の拡大・縮小調整

プリセット：デフォルト

モデルの顔と背景を表示

プレビューウィンドウ内でクリックアンドホールドすることで適用前を確認

マウスを話すと適用後の確認

右側スライダーで細かな調整可能

例) 肌の質感が悪い：シャープネス特有のノイズのせい→ノイズを軽減の値を増やす



3. 右上の「歯車」アイコン > 従来方式にチェック 従来のシャープはノイズがひどいことを確認

4. 「OK」ボタンをクリックしてフィルター適用完了

# 選擇範圍

# 背景透明化

## 背景透明化

練習) 「01.psd」を開く

■人物の写真を切り抜く

1. **ツールパネル** : クイック選択ツール ※1
2. **オプションバー** : ブラシの直径「150」※2
3. モデルをドラッグして選択範囲を指定 ※3

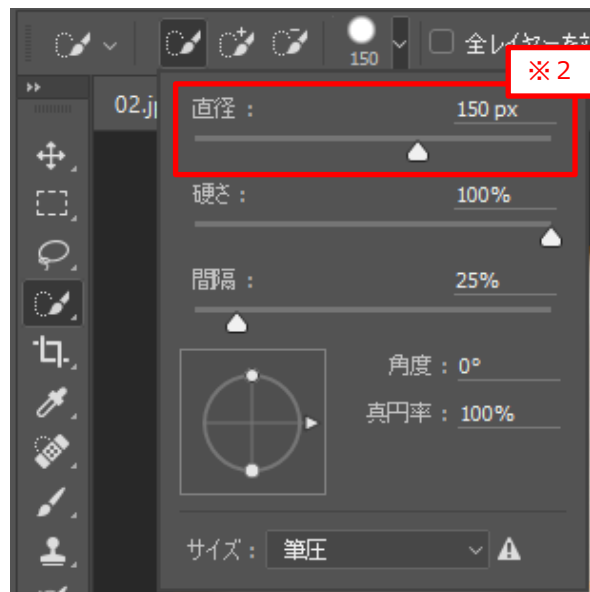
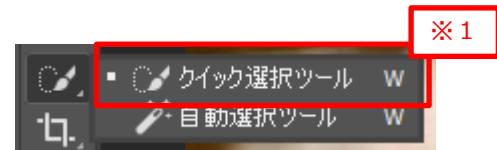
選択不要な場所は削る : Win「Alt」 + ドラッグ Mac「option」 + ドラッグ

4. **ツールパネル** : ズームツール「拡大」
5. **オプションバー** : ブラシの直径「50」
6. モデルをドラッグして細かな部分の選択範囲指定

7. **ツールパネル** : なげなわツール
8. モデルをドラッグしてさらに細かな部分の調整

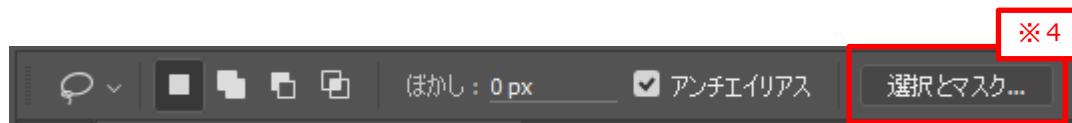
選択箇所を増やす : Win「Shift」 + ドラッグ Mac「Shift」 + ドラッグ

選択不要な場所は削る : Win「Alt」 + ドラッグ Mac「option」 + ドラッグ



# 背景透明化

選択範囲の境界をなじませる



9. **オプションバー**：選択とマスク（境界線を調整）※4

10. 属性パネル（境界線を調整画面）

エッジの検出：半径「10px」スマート半径にチェック ※5

※髪の毛などの境界のあいまいなところをなじませることができる

11. 境界線を表示（半径を表示）にチェック ※6

エッジの検出で設定した半径を確認できる

確認後、半径を表示のチェックをはずす

12. グローバル調整（エッジを調整）

滑らかに「20」※7

※境界線のがたつきを滑らかにできる

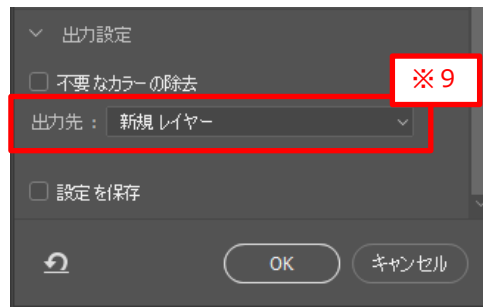
エッジをシフト「-20%」※8

※内側にシフトすることで不要な箇所が含まれないようにする

13. **出力設定**：出力先「新規レイヤー」※9

14. 「OK」ボタンをクリック

新しいレイヤーでモデルの切り抜き完了



# 修復

# コンテンツに応じた塗りと修復

写真から不要なオブジェクトを削除する塗り・修復

## 修復ブラシツール

練習) 「04.jpg」を開く 落書きを消してみよう

**ツールバー** : 修復ブラシツール ※コピースタンプツールと似た機能

※コピー元の情報をコピー先の明るさや色合いになじませることで自然に仕上げる

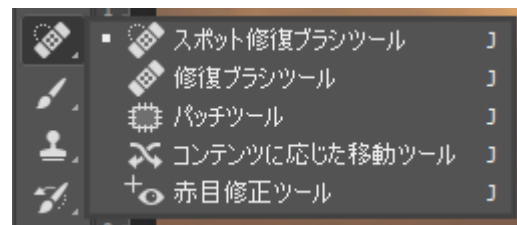
**オプションバー** : ブラシの大きさ等を設定

画像内からコピー元となる部分を選択

Win : 「Alt」 + 「クリック」 Mac : 「option」 + 「クリック」

修正箇所をドラッグ

ドラッグ終了後、明るさ・色合いの調整が入る



## スポット修復ブラシツール

練習) 「05.jpg」を開く 波の間の黒い何かを消してみよう

**ツールバー** : スポット修復ブラシツール

**オプションバー** : コンテンツに応じるを選択

Photoshopが修復先のピクセル情報を解析し、突飛な色情報を修復する

**オプションバー** : ブラシの大きさ等を設定

修復箇所をクリック

# コンテンツに応じた塗りと修復

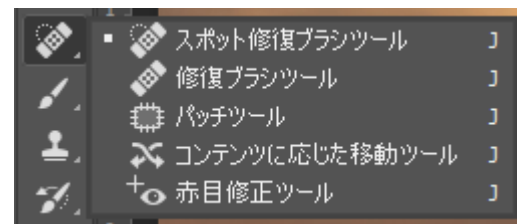
写真から不要なオブジェクトを削除する塗り・修復

## パッチツール

練習) 「06.jpg」を開く 菜の花畑の人を修正

**ツールバー** : パッチツール

※コピー元の情報をコピー先の明るさや色合いになじませることで自然に仕上げる  
不要な箇所をなげなわツールのように選択し、選択箇所をドラッグして修正  
移動先のピクセルが選択範囲に適用される



## なげなわツール

練習) 「06.jpg」を開く 人を消してみよう

**ツールバー** : なげなわツール

**オプションバー** : ぼかし「0px」※1

修復箇所をなげなわツールで選択

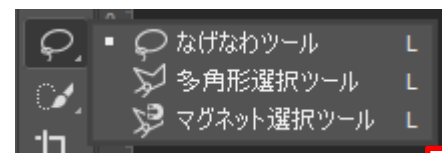
**メニューバー** : 「編集」>「塗りつぶし」

※選択範囲をべた塗りで塗りつぶす

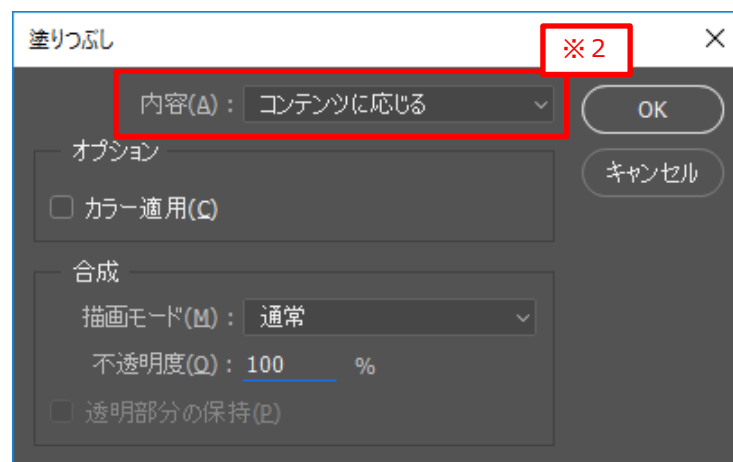
**塗りつぶし画面** : 内容「コンテンツに応じる」※2

※コンテンツに応じて塗りつぶす

「OK」クリックで確定



※1



※2



# オブジェクト

# オブジェクトと属性の設定

画像にシェイプを追加し属性を変更する

練習) 新規 ファイル名「オブジェクト」 ドキュメントの種類「Web」

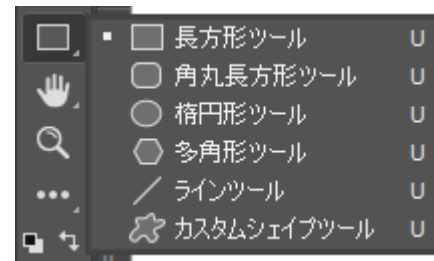
## 長方形ツール

シェイプを追加したレイヤーを選択

**ツールバー** : 長方形ツール

長押しで「長方形」「角丸長方形」「楕円形」「多角形」「ライン」「カスタムシェイプ」から選択可能

**オプションバー** : 各種設定 ※後から修正可能



画面上をドラッグしてシェイプレイヤーを作成

属性パネルで設定

「サイズ」「位置」※ラベルを横ドラッグして設定可能

「塗り」「線」「線の位置」

「角丸処理」

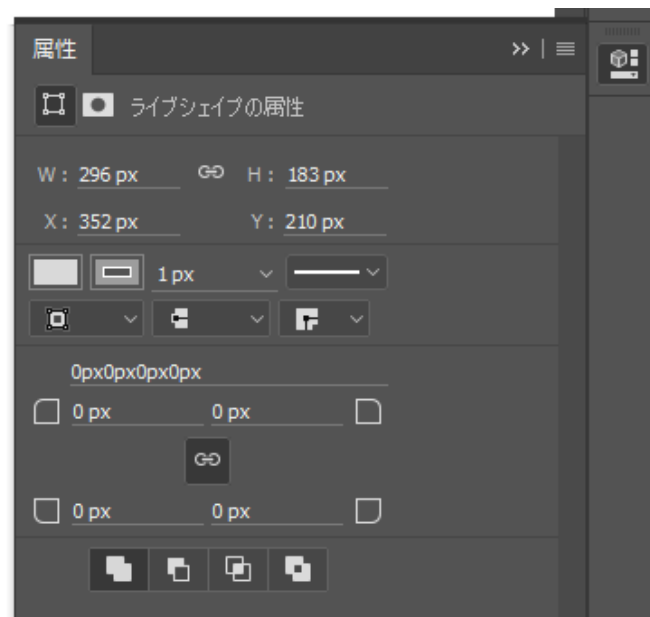
※ラベルを横ドラッグして設定可能

※リンクアイコン解除で個別設定

## シェイプの修正

シェイプレイヤーを選択

属性パネルが表示されるのでパネルから修正



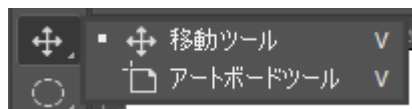
# オブジェクトと属性の設定

## シェイプの移動

**ツールバー**：移動ツール

位置調整

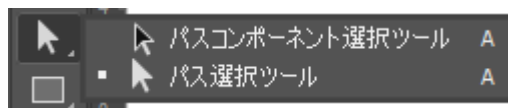
画面のシェイプ外をクリックして選択解除



## シェイプの削除

**ツールバー**：パスコンポーネント選択ツール

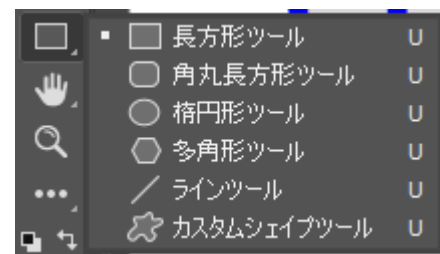
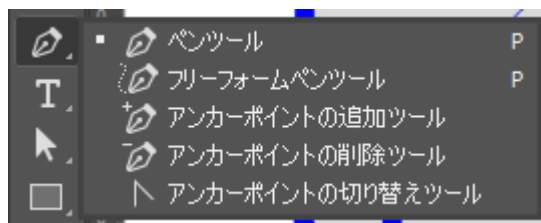
対象シェイプを選択して「Delete」キー



## 共通

解像度に依存しない

変形しても劣化しない



## パス：輪郭

自分の思い描く線を作れる

## シェイプ：図形

パスを閉じたり、ライブシェイプを変形させることで作成された図形

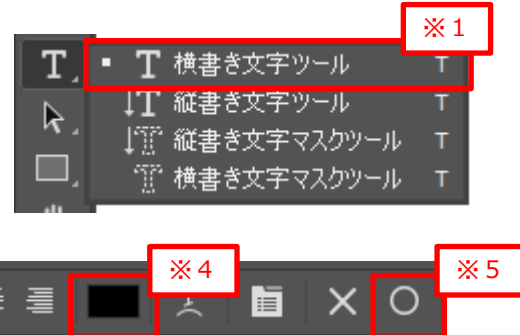
## ライブシェイプ：図形

属性画面で便利にカスタマイズできる図形

# テキスト

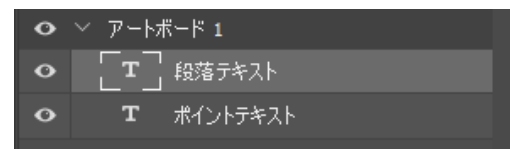
# テキストの追加

練習) 新規 ファイル名「テキスト作成」 ドキュメントの種類「Web」



## ポイントテキスト：クリックして入力したテキスト

1. **ツールパネル**：横書き文字ツール ※1
2. **オプションバー**：フォント「好きなフォント」※2 フォントサイズ「48pt」※3 テキストカラー「好きな色」※4
3. 画像上でクリックして文字の入力
4. 1行目「テラ」、2行目「ハウス」、3行目「テラハウス」を入力
5. **オプションバー**：「○」クリックで確定 ※5 Win「Ctrl」+「Enter」 Mac「Command」+「Enter」
6. レイヤーパネルに文字レイヤーが作成される レイヤー名「ポイントテキスト」に変更
7. **ツールパネル**：移動ツール 文字の位置を調整



## 段落テキスト：ドラッグして入力したテキスト

1. **ツールパネル**：横書き文字ツール
2. **オプションバー**：フォント「好きなフォント」フォントサイズ「48pt」テキストカラー「好きな色」
3. 画像上をドラッグして文字入力エリアを指定
4. 1行目「テラ」、2行目「ハウス」、3行目「テラハウス」を入力
5. **オプションバー**：「○」クリックで確定 Win「Ctrl」+「Enter」 Mac「Command」+「Enter」
6. レイヤーパネルに文字レイヤーが作成される レイヤー名「段落テキスト」に変更
7. **ツールパネル**：移動ツール 文字の位置を調整

# テキストの追加

ツールパネル：横書き文字ツール

## ポイントテキスト

バウンディングボックスをクリックするとカーソルが現れ編集可能

バウンディングボックス枠は表示されず文字のベースラインと開始位置のみ表示

**オプションバー：**「x」をクリックでキャンセル

テラ

ハウス

テラハウス

## 段落テキスト

バウンディングボックスをクリックするとカーソルが現れ編集可能

バウンディングボックス枠が表示される

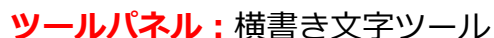
バウンディングボックスの縦横サイズを変更すると自動的に改行されバウンディングボックスに収まるように表示される

バウンディングボックスからはみ出る文字は表示されない

**オプションバー：**「x」をクリックでキャンセル

テラ  
ハウス  
テラハウス

## 文字パネル



レイヤーパネルの「T」アイコンをダブルクリックでも編集可能

**オプションバー:** 「文字パネル」アイコンをクリック ※1

## 文字パネル

1. テキストをドラッグして選択
2. フォントサイズの変更 ※2 ・ 行送りの変更 ※3 ・ テキストカラー変更 ※4
3. **オプションバー**：「○」クリックで確定



# テキストの追加

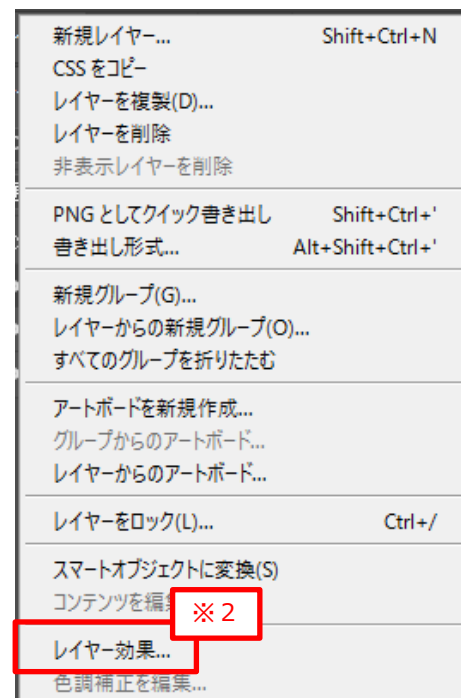
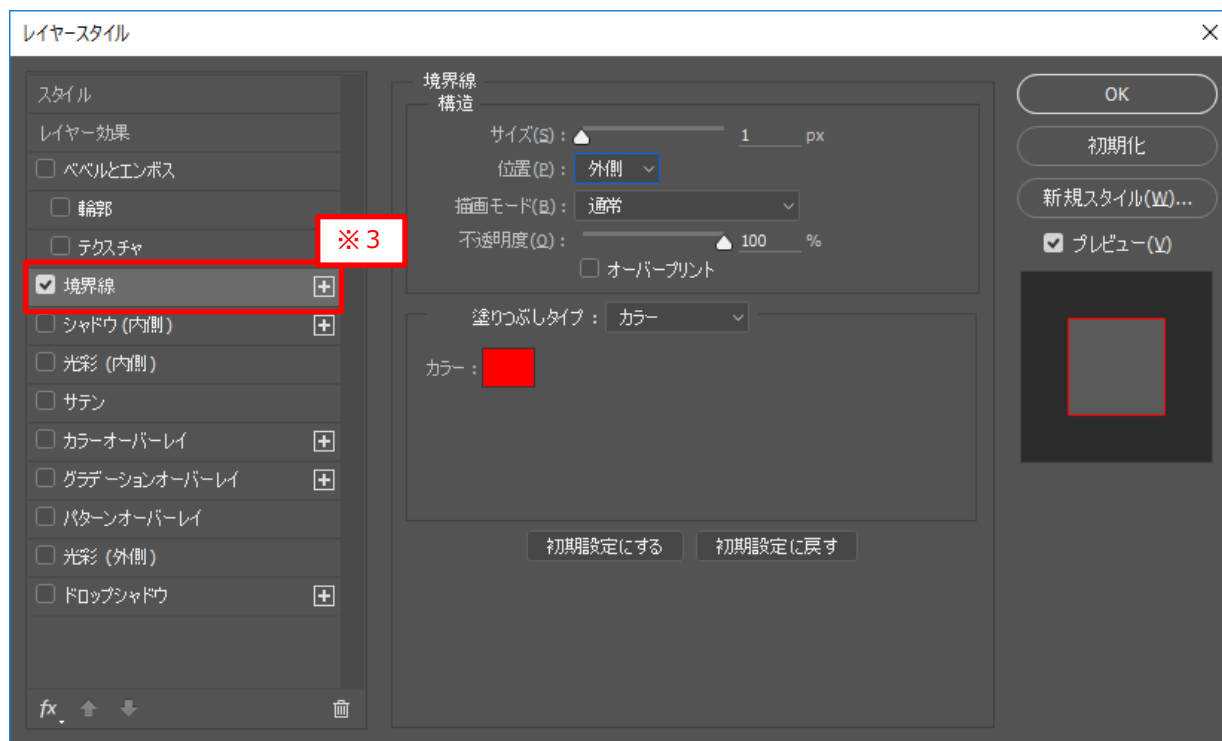
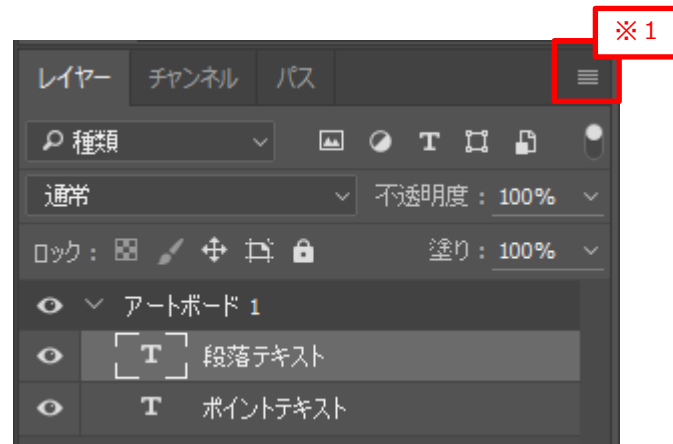
## 文字レイヤーにレイヤー効果の設定

**レイヤーパネル：**テキストレイヤーを選択

右上のパネルメニュー ※ 1 > レイヤー効果 ※ 2

**ツールバー：**境界線 ※ 3

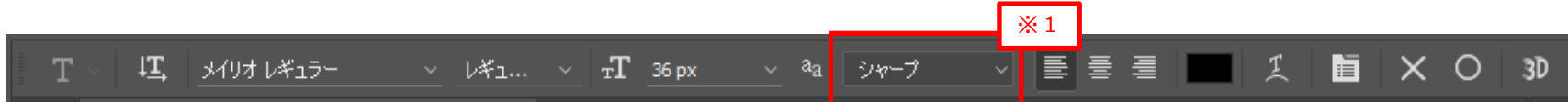
位置「外側」サイズ「好きなサイズ」カラー「好きな色」  
「OK」クリックで確定





# 文字のアンチエイリアス設定

基本色と背景色の間に中間色を設定し、文字をなじませて表示させる



## アンチエイリアスの設定

**オプションバー：**アンチエイリアスの種類を選択

Win：「Windows LCD」「Windows」 Mac「Mac LCD」「Mac」※基本はLCDで確認

HTMLに直打ちした文字がWebブラウザ上で実際に文字がどのように表示されるのか

プレビューできるシステムアンチエイリアスオプション

※LCD：サブピクセルレンダリングありモニタ用

※サブピクセルレンダリングモニタ：画像をピクセル単位ではなく、より細かなRGBサブピクセル単位で仮想処理する技術

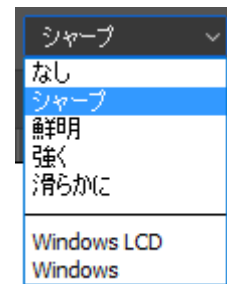
※サブピクセルレンダリングモニタ設定：

Win：コントロールパネル > ディスプレイ > ClearTypeテキストの調整

「ClearTypeを有効にする」にチェックを入れることでよりなめらかに文字を表示する（初期設定：有効）

Mac：システム環境設定 > 一般

「使用可能な場合はLCDで滑らかな文字を使用」にチェックでよりなめらかに文字を表示する（初期設定：有効）



# コンタクトシート作成

# まとめて画像縮小

## イメージプロセッサを使ってまとめて画像を縮小

縮小対象写真をフォルダ「img\_org」にまとめる

書き出しフォルダ「img\_small」を作成する

**メニューバー：**「ファイル」>「スクリプト」>「イメージプロセッサ」

**イメージプロセッサ画面：**

処理する画像を選択 ※1 「フォルダーを選択」>「対象写真が入ったフォルダ img\_org 選択」

処理後の画像を保存する場所を選択 ※2 「フォルダーを選択」>「書き出しフォルダ img\_small 選択」

ファイル形式 ※3 「JPEGとして保存」を選択 ※今回は写真なのでJPEGを選択

画質「5」※0～12の範囲で指定

「サイズを変更して合わせる」にチェック W「400px」（幅） H「300px」（高さ）

「実行」をクリックしてイメージプロセッサの処理開始

対象画像をまとめて縮小完了



# コンタクトシートの作成

## コンタクトシートの作成

**メニューバー：**「ファイル」>「自動処理」>「コンタクトシートII」

**コンタクトシートII 画面：**

ソース画像 使用「フォルダ」 「選択」>「対象写真の入った img\_small フォルダを選択」

ドキュメント 単位「cm」 「すべてのレイヤーを統合」にチェック

幅「21」高さ「29.7」※A4サイズを想定

解像度「300」 **「pixel/inch」** モード「CMYKカラー」※印刷想定

カラープロファイル「作業用CMYK」 ビット数「8bit」

サムネイル 配置「横に並べる」 「自動間隔を使用」のチェックをはずす

縦列「3」 横行「4」 垂直方向「2cm」 水平方向「2cm」

「回転して最適サイズに合わせる」のチェックをはずす

ファイル名を説明として使用 そのまま

「OK」をクリック

**それぞれのドキュメントを保存 ※次の工程で使します**

## コンタクトシート II

### ソース画像

使用:

フォルダー

選択...

C:\Users\#ica\Desktop\photoshop\img\_org

☒ サブフォルダーを含める

☐ 画像をフォルダーごとにグループ化

OK

キャンセル

読み込み...

保存...

初期化...

画像処理をキャンセル  
するには Esc キーを押  
します

### ドキュメント

単位:

cm

☒ すべてのレイヤーを統合

幅:

21

モード:

CMYK カラー

高さ:

29.7

ビット数:

8 bit

解像度:

300

pixel/inch

カラープロファイル:

作業用 CMYK

### サムネール

配置:

横に並べる

☐ 自動間隔を使用

縦列:

3

垂直方向:

2 cm

横行:

4

水平方向:

2 cm

☐ 回転して最適サイズに合わせる

ファイル名を説明として使用

☒ フォント:

MS UI Gothic

Regular

12

pt

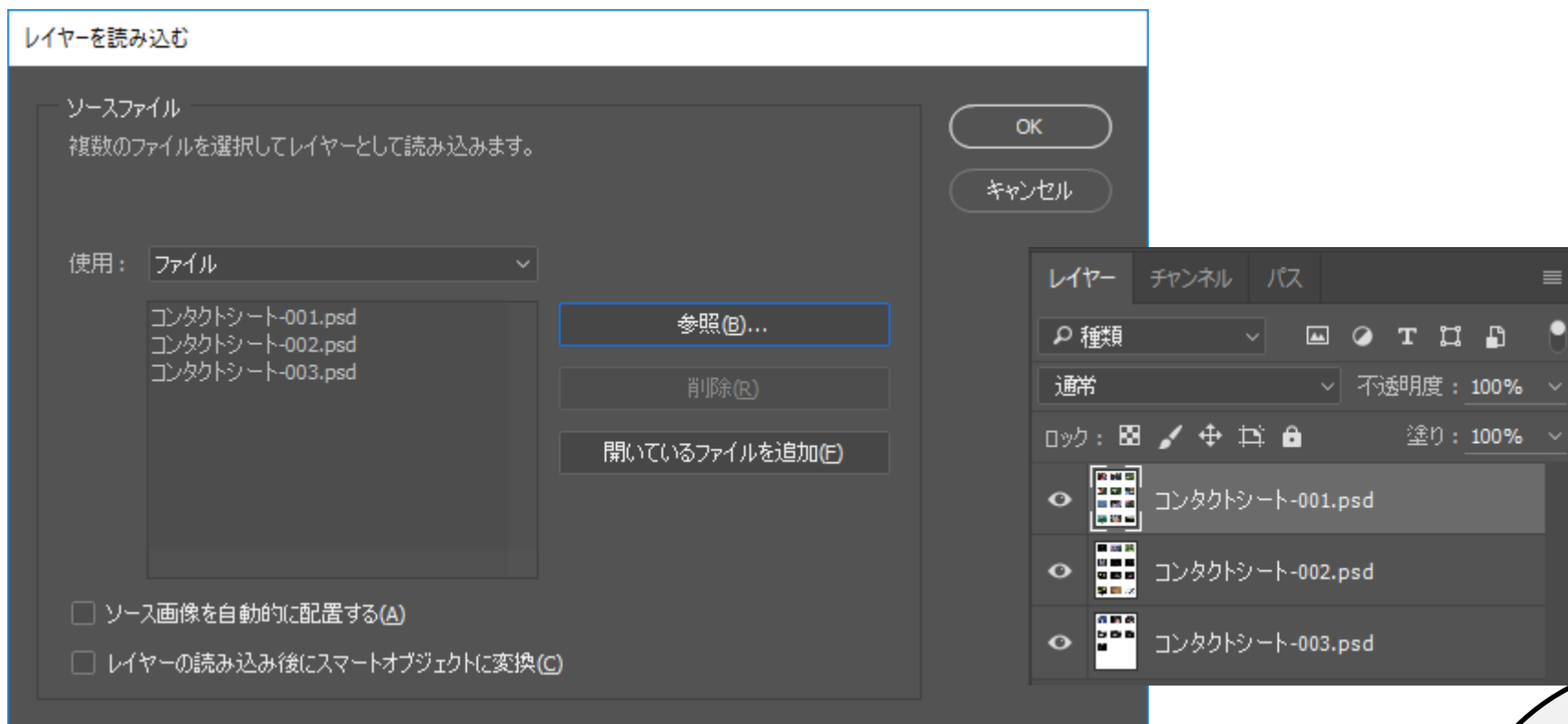
# コンタクトシートの作成

## 複数ドキュメントをレイヤー化

**メニューバー：**「ファイル」>「スクリプト」>「ファイルをレイヤーとして読み込み」

**レイヤーを読み込む 画面：**「参照」>「対象ドキュメントを選択」

「OK」をクリック



# コンタクトシートの作成

## レイヤーカンパ機能

**メニューバー**：「ウィンドウ」>「レイヤーカンパ」

レイヤーカンパパネルが表示される

-----  
**レイヤーパネル**：対象レイヤーを表示 ※1

**レイヤーカンパパネル**：右下「新規レイヤーカンパを作成」※2

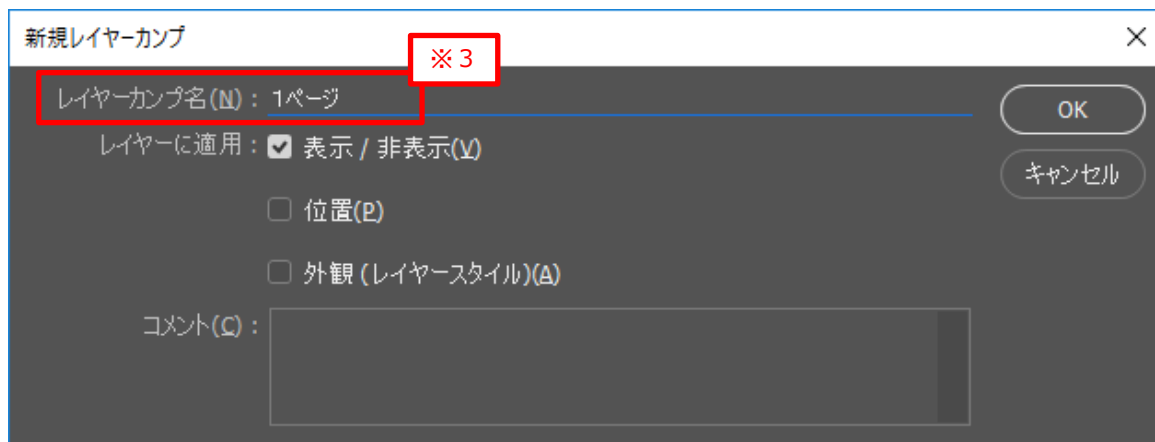
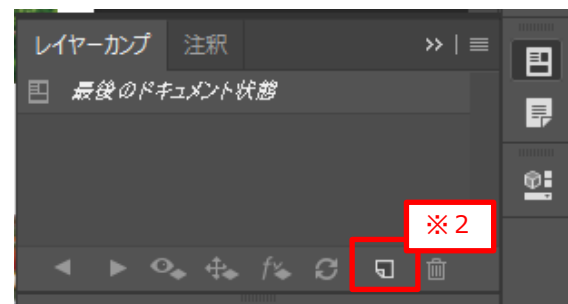
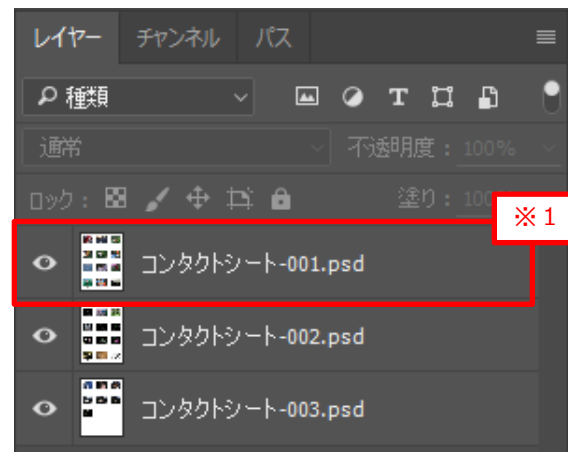
**新規レイヤーカンパ 画面**：レイヤーカンパ名「1ページ」 「OK」クリック ※3

-----  
**レイヤーパネル**：対象レイヤーを表示

**レイヤーカンパパネル**：右下「新規レイヤーカンパを作成」

**新規レイヤーカンパ 画面**：レイヤーカンパ名「2ページ」 「OK」クリック

-----  
3ページ目も同様に作成し「画像一覧.psd」で保存



# コンタクトシートの作成

## レイヤーカンパからPDF生成

**メニューバー：**「ファイル」>「書き出し」>「レイヤーカンパからPDF」

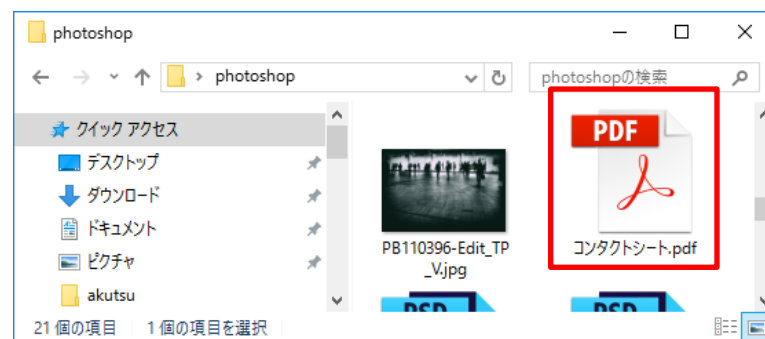
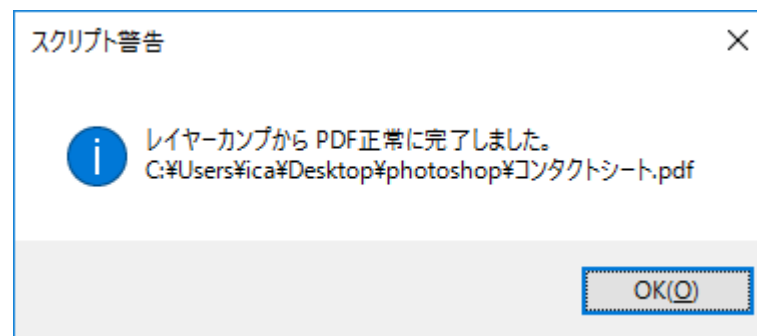
**レイヤーカンパからPDF 画面：**

「参照」>「保存先フォルダを選択」「保存ファイル名を記入」>「保存」

「選択されたレイヤーカンパのみ」のチェックをはずす

その他のチェックもすべてはずす

「実行」をクリック





# 画像形式

# ビットマップ画像と解像度

ビットマップ画像：画素（小さな四角の点）で構成された画像

解像度：幅・高さ1インチ内に敷き詰められた画素の数

Webページなど画面に表示する場合の解像度は「**72pixel / inch**」

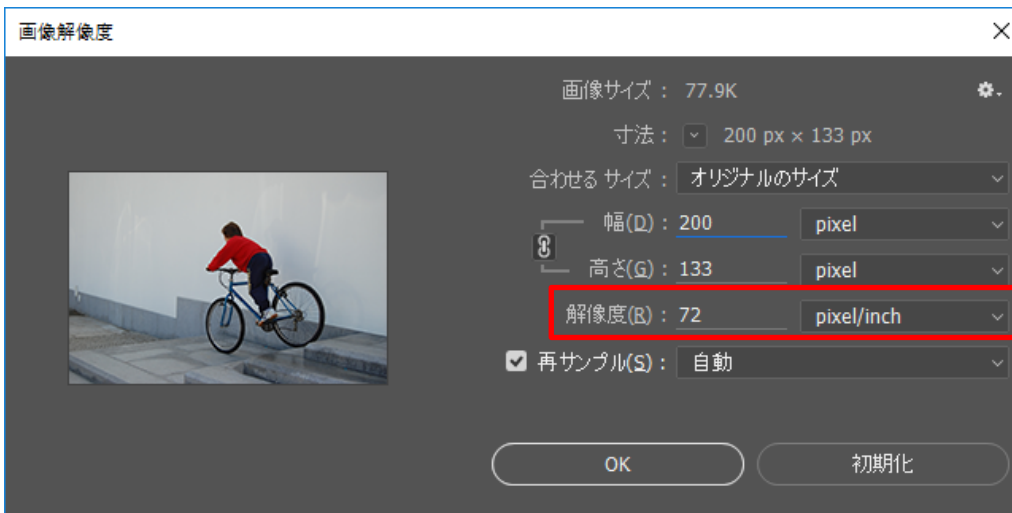
雑誌やポスターなど印刷に使用する場合の解像度は「300pixel / inch」以上

## 解像度の確認

メニューバー：「イメージ」>「画像解像度」

Win「Ctrl」+「Alt」+「I」 Mac「Command」+「Option」+「I」

利用目的に合わせて適切な解像度を選択することが重要



## 低解像度



「荒い画像」

「ファイルサイズが小さい」

## 高解像度



「鮮明な画像」

「ファイルサイズが大きい」

# カラーモード

RGBカラー：Webなど、ディスプレイで閲覧される画像に使用

CMYKカラー：印刷物など、インクを使った出力に使用

## 新規作成時カラーモード

**メニューバー：**「ファイル」>「新規作成」

**新規 画面：**

ファイル名「カラーモード」

カラーモード

「RGBカラー」

赤（Red） 緑（Green） 青（Blue） の光の強さで表現

「CMYKカラー」

Cyan、Magenta、Yellow、black（Blueと混同しないようにK） の色の強さで表現



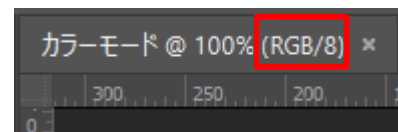
## カラーモード変更

通常デジタルカメラ等で撮影された画像はRGBカラーの為、印刷に使用する場合は入稿前にCMYKカラーに変換する  
ドキュメントタブに現在のカラーモードが表示されている

**メニューバー：**「イメージ」>「モード」>「カラーモードを選択」

確認画面が表示された場合は「OK」をクリック

ドキュメントタブで変更されたカラーモードを確認



# 汎用的な画像形式

目的に応じて汎用的な画像形式を選択して書き出し

デジタルカメラ

15.jpg



Photoshop

15.psd



Web用画像

JPEG/GIF/PNG



元の画像を圧縮して  
ファイルサイズを小さくする

印刷用画像

TIFF



圧縮せずに保存

高精細な画像を扱う印刷向き  
拡張子 (.tif) ファイルサイズが大きい

# 汎用的な画像形式

JPEG形式 .jpg



用途：写真  
フルカラー

GIF形式 .gif



用途：アイコン・イラスト  
256色・透明

PNG形式 .png



用途：なんでもOK  
フルカラー・透明・半透明  
ファイルサイズが大きい

## 新しい書き出し方法

新画像書き出し：「ファイル」>「書き出し」>「書き出し形式」

〇〇としてクイック書き出し：「ファイル」>「書き出し」>「〇〇として書き出し」 設定「環境設定」>「書き出し」

画像アセットの抽出：「ファイル」>「生成」>「画像アセット」

設定「環境設定」>「プラグイン」>「Generator を有効にする」

## 従来の書き出し方法

Web用に保存（従来）：「ファイル」>「書き出し」>「Web用に保存（従来）」

# 新画像の書き出し

従来の「Web用に保存」の不必要な設定項目がなくなる

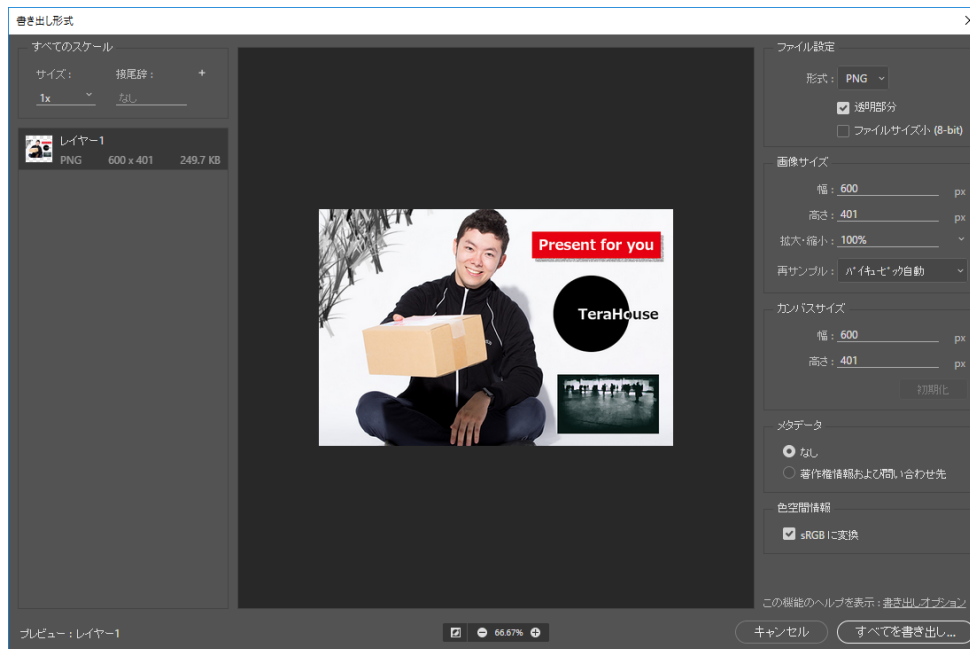
レイヤーごとの書き出しやSVG書き出しに対応

※Scalable Vector Graphics (スケーラブル・ベクター・グラフィック)  
XMLを使った2次元ベクター画像形式

**メニューバー:** 「ファイル」 > 「書き出し」 > 「書き出し形式」

Win 「Ctrl」 + 「Shift」 + 「Alt」 + 「W」

Mac 「Command」 + 「Shift」 + 「Option」 + 「W」

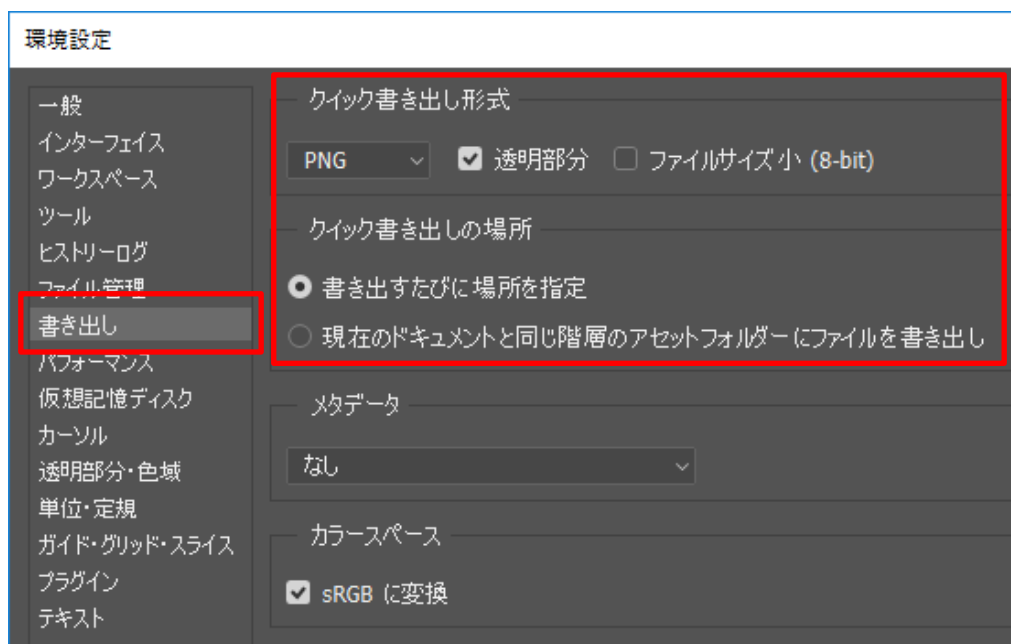


# ○○としてクイック書き出し

あらかじめ保存した設定で書き出し

## 設定

メニューバー：「編集」>「環境設定」>「書き出し」



## 書き出し

メニューバー：「ファイル」>「書き出し」>「○○としてクイック書き出し」

※○○部分には設定時に指定した書き出し画像形式

# 画像アセットの抽出

書き出し対象レイヤーを自動書き出し

## 設定

**メニューバー:** 「編集」 > 「環境設定」 > 「プラグイン」

**環境設定 画面:** 「Generator を有効にする」にチェック

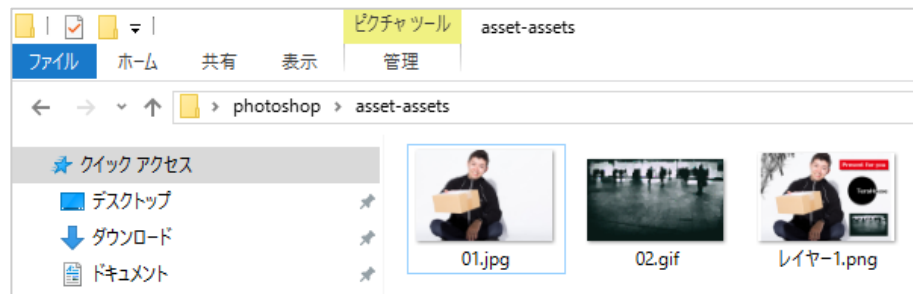
## 書き出し

**メニューバー:** 「ファイル」 > 「生成」 > 「画像アセット」にチェック

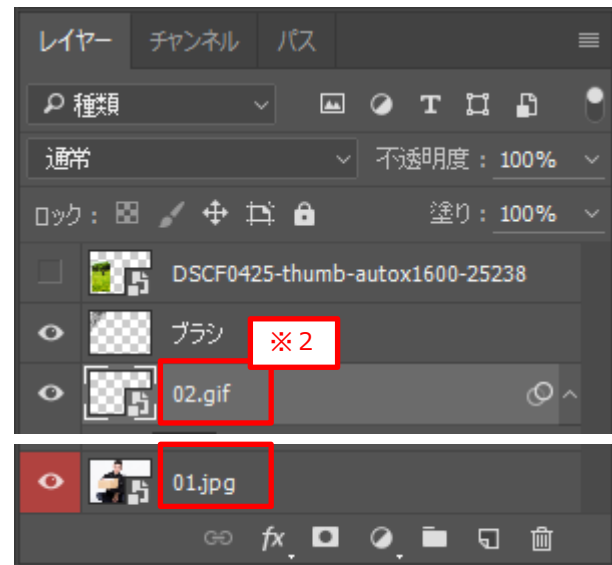
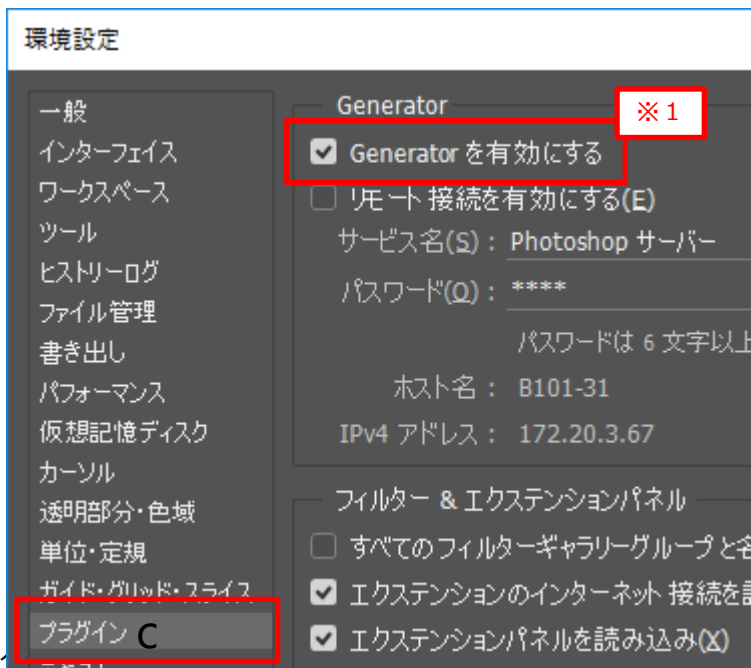
## レイヤーパネル:

対象レイヤーのレイヤー名を「書き出しファイル名.拡張子」にする ※2

「ファイル名-assets」フォルダに自動書き出しされる



※書き出し対象レイヤーに変更が加わると自動的に書き出される





# 画像アセットの抽出

## レイヤー名による生成ルール

レイヤー名によって自動書き出しされる画像の生成方法を変更できる

	レイヤー名の設定	生成される画像ファイル
複数のファイル	logo.png, logo.gif	logo.png logo.gif
大きさ指定（ピクセル）	250x150 logo.png	logo.png（幅250ピクセル、高さ150ピクセル） ※縦横比が崩れることがあるので注意！
大きさ指定（%）	200% logo-retina.png	logo-retina.png（200%の大きさ）
組み合わせ	200% logo@2x.png, logo.png	logo@2x.png（200%の大きさ） logo.png

	レイヤー名の設定	書き出しオプション
PNG	logo.png	半透明のアルファチャンネルを持つPNG-24
	logo.png8	PNG-8
	logo.png24	PNG-24
JPEG	logo.jpg logo.jpg8	画質80%
	logo.jpg1	画質10%
	logo.jpg10	画質100%
	logo.jpg50%	画質50%
	logo.jpg100%	画質100%

※GIFの設定はなし

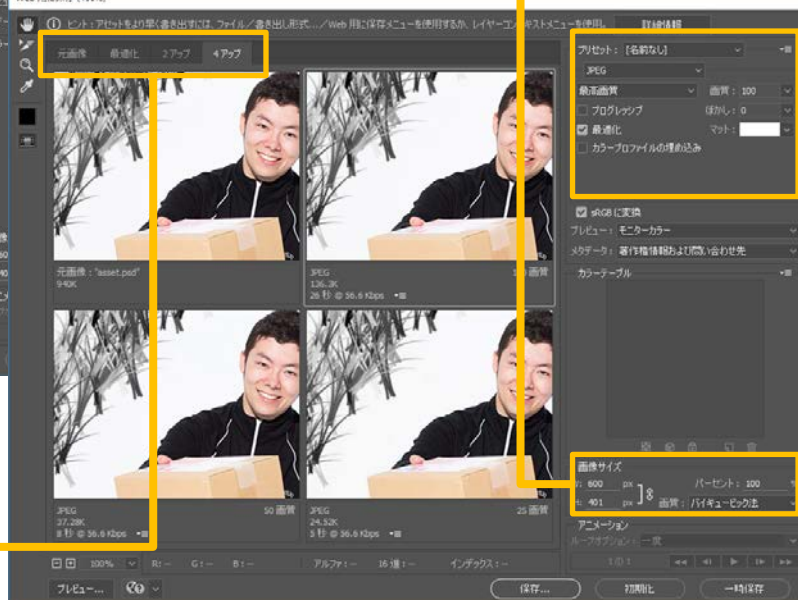
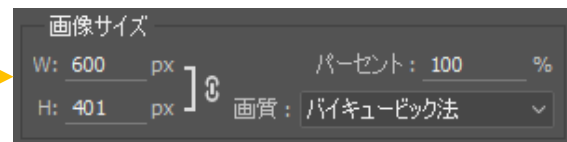
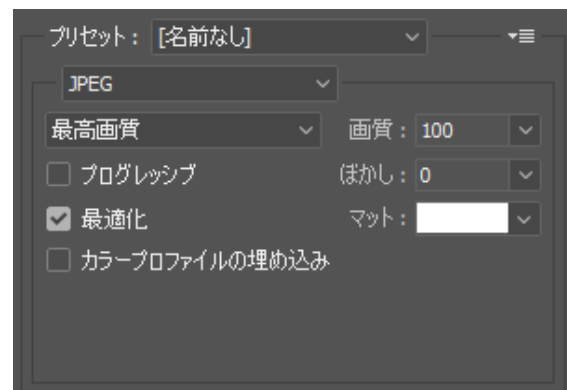
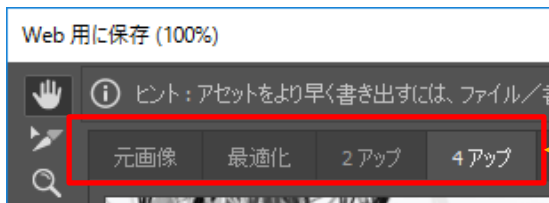
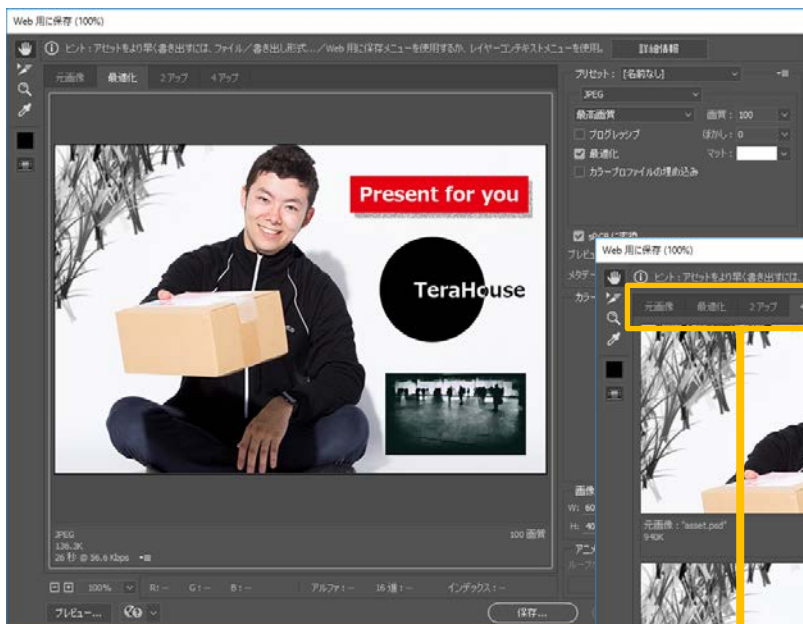
# 画像の書き出し

## Web用に保存（従来）

旧バージョンPhotoshopのWeb用画像書き出し

## 書き出し

メニューバー：「ファイル」>「書き出し」>「Web用に保存（従来）」

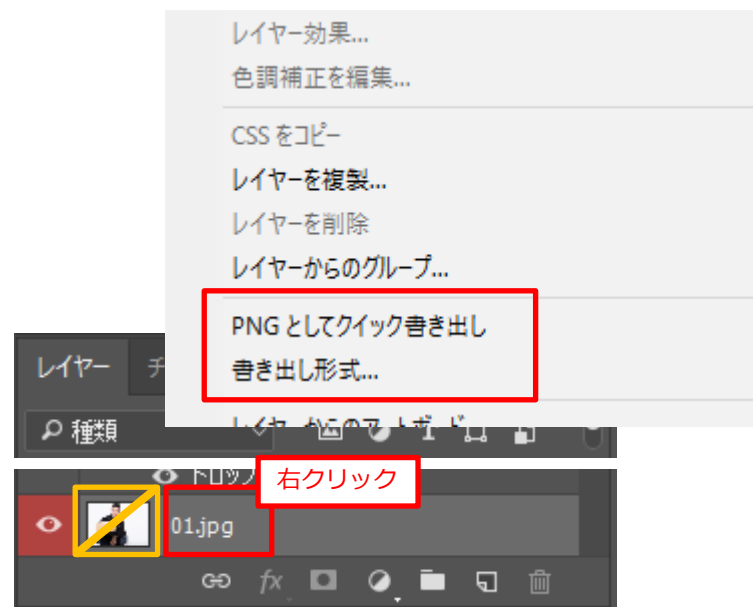


# レイヤーを書き出し

## 選択レイヤーのみ書き出す

1. **パネルグループ**：レイヤー「書き出し対象レイヤーを選択」
- 2-1. 「レイヤー名を右クリック ※レイヤーアイコンではない」 > 「○○としてクイック書き出し」 / 「書き出し形式」
- 2-2. **メニューバー**：「レイヤー」 > 「○○としてクイック書き出し」 / 「書き出し形式」

複数レイヤーを選択した場合は複数画像書き出される



対象レイヤーのみ書き出される

# アートボード

# アートボードを使用したデザイン

## アートボードとは（CC2015以降）

1つのPhotoshopファイルに複数のアートボード作成

**アートボード：**レイヤーグループのように動作するコンテナ

アートボード内に配置されたレイヤーはアートボード領域内で操作可能

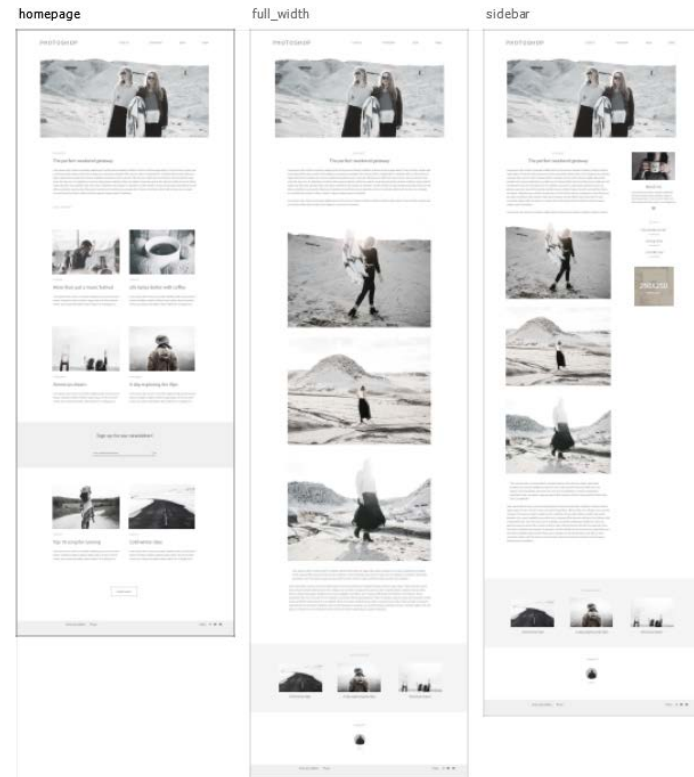
複数ページのデザインや同一ページを異なるサイズに対応させたレスポンスデザインを作成できる

### メリット：

アートボード間でコンテンツを簡単にコピーできる

すべての表示を一度に確認できる

デザインの整理がしやすい



# アートボードを使用したデザイン

## アートボードの新規作成

メニューバー：「ファイル」>「新規」

新規画面：

ドキュメントの種類「アートボード」

アートボードのサイズ「Web 一般 (1366, 768)」

※適切なデバイスを選択する

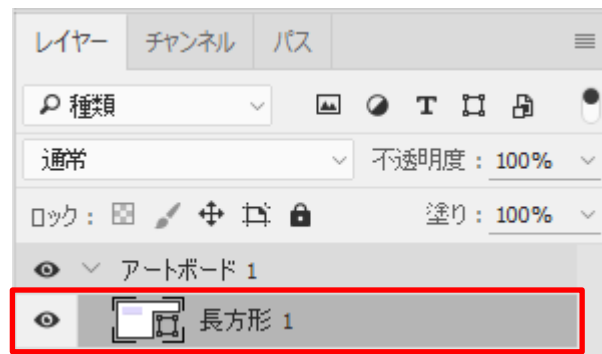
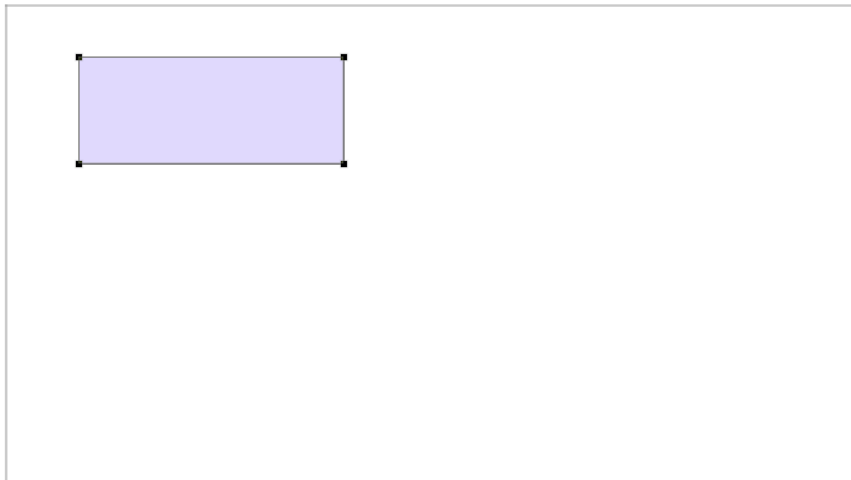


パネルグループ：レイヤー

アートボードに「長方形」を追加

アートボード内のオブジェクトはアートボードの下にグループ化されたレイヤーとして表示される

アートボード 1

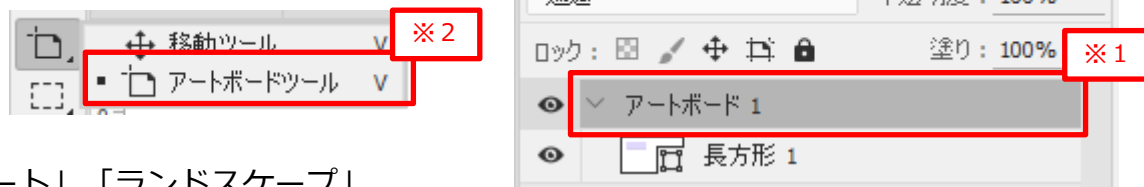


# アートボードを使用したデザイン

## アートボードサイズの変更

**パネルグループ：**レイヤー「対象アートボードを選択」※1

**ツールバー：**アートボードツール ※2



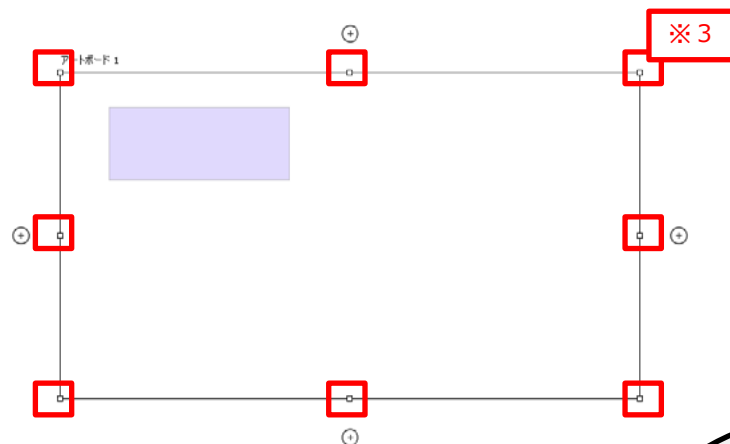
**方法1 オプションバー：**

「サイズ」「幅」「高さ」「ポートレート」「ランドスケープ」

「新しいアートボード追加」「レイヤーの整列と分布」「アートボードの動作を設定」



**方法2 属性画面：**変更

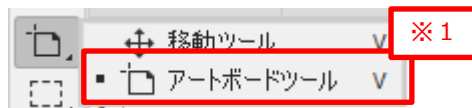


**方法3 ドキュメントウィンドウ：**ハンドルで大きさを手動変更 ※3

# アートボードを使用したデザイン

## アートボードの追加

**ツール :** アートボードツール ※1



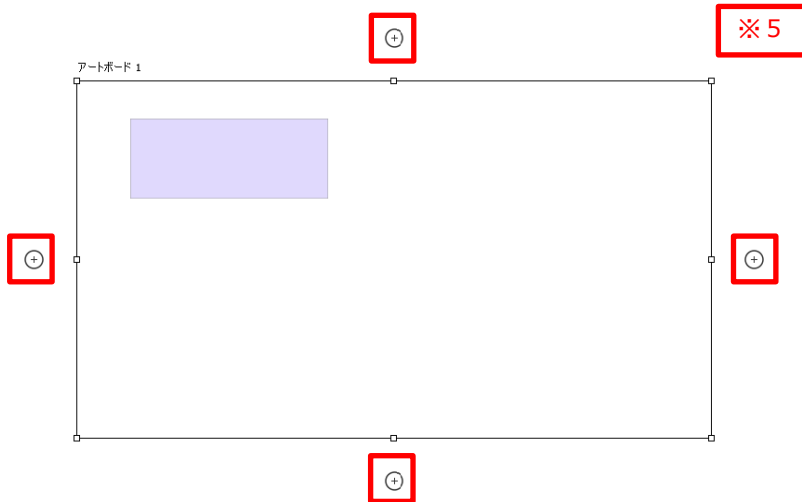
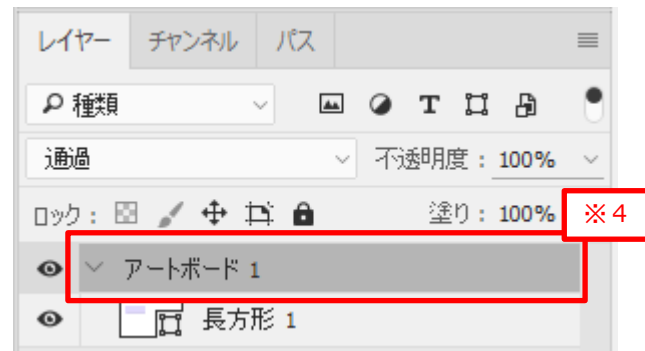
**方法1** ドラッグしてアートボード作成

**方法2 オプションバー :** 「新しいアートボードの追加」 クリック ※2



「サイズ」からプリセットサイズを選択 or 「幅」「高さ」指定 ※3  
ドキュメント上をクリックして作成

**方法3 パネルグループ :** レイヤー「既存のアートボードを選択」 ※4  
ドキュメントウィンドウ内の「+」をクリック ※5





# アートボードを使用したデザイン

## アートボードの名前を変更

**パネルグループ：**レイヤー「名前をダブルクリックして変更」※1

## アートボード内レイヤーの操作

**パネルグループ：**レイヤー「長方形 1」を選択 ※2

**ツールバー：**移動ツール ※3

アートボード領域内とアートボード領域外に分かれており配置したレイヤーはそれぞれを行き来できる

## アートボードの書き出し

**すべてのアートボードの書き出し**

**メニューバー：**「ファイル」>「書き出し」>「○○としてクイック書き出し」

**フォルダを選択 画面：**「書き出しフォルダを選択」

「OK」クリックで書き出し

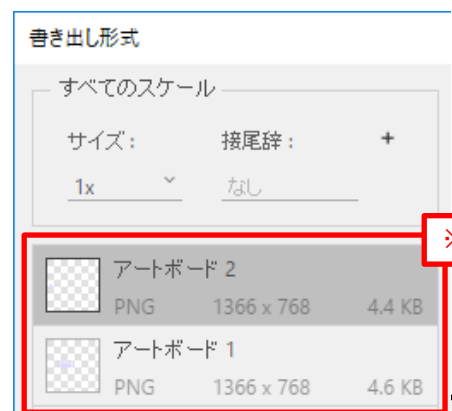
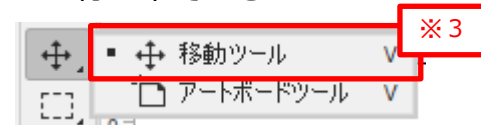
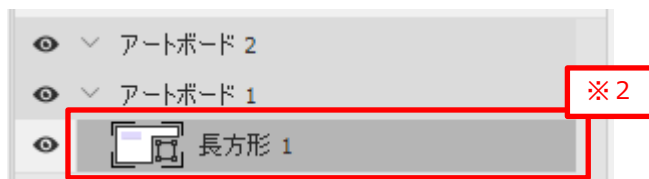
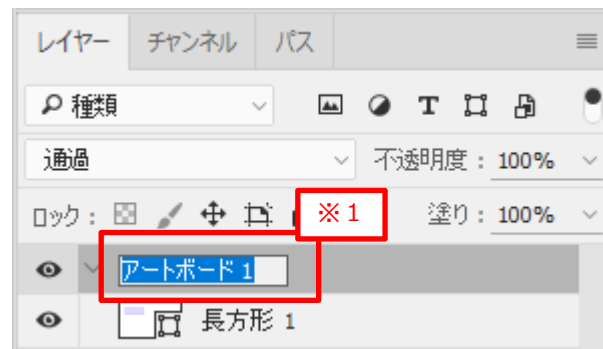
**選択したアートボードの書き出し**

**方法1 パネルグループ：**レイヤー

「アートボードを右クリック」>「○○としてクイック書き出し」/「書き出し形式」

**方法2 メニューバー：**「ファイル」>「書き出し」>「書き出し形式」

左メニューから書き出すアートボードを選択 ※4



# アートボードを使用したデザイン

## アートボードを複数ページのPDFとして保存

**メニューバー：**「ファイル」>「書き出し」>「アートボードからPDF」

**アートボードからPDF 画面：**

アートボードから PDF

保存先： 保存先フォルダを指定  
C:\Users\ica\Documents\photoshop 参照(B)...

ファイルの先頭文字列： 保存するファイル名  
draft01

☒ 重なる領域を含める(I)  
☐ アートボードの内容のみ(A)  
☐ 選択したアートボードを書き出し(E) すべてのアートボードをPDF化する場合はチェックをはずす

PDF オプション：  
☒ 複数ページドキュメント ☐ 1つのアートボード当たりのドキュメント  
☒ ファイル名を含める 各ページの下に「ファイル名 アートボード名」を出力する場合にチェックする ※日本語は文字化けする  
エンコーディング： ☐ ZIP ☒ JPEG 画質： 8 出力画質  
☒ ICC プロファイルを含める(I)

キャンセル 実行

各アートボードをPDFで配布することで  
全デザインを簡単に共有することができる

draft01sidebar	□□□□□□sidebar

# レイヤーキャンプ

# レイヤーカンパ作成

## レイヤーカンパとは

レイヤーパネルの状態を記録したスナップショット

次の3種類を記録できる

- ・レイヤーパネル内のレイヤー表示/非表示
- ・ドキュメント内のレイヤー位置
- ・レイヤースタイルや描画モードの適用によるレイヤー外観

## レイヤーカンパ作成

標準状態のレイヤーカンパとオンマウス時のレイヤーカンパを作成する

**メニューバー:** 「ファイル」 > 「HerosCC05.psd」を開く

**レイヤーパネル:** 検索「\_on」を非表示 「\_off」を表示

**メニューバー:** 「ウィンドウ」 > 「レイヤーカンパ」

**レイヤーカンパパネル:**

標準状態が表示されていることを確認

「新規レイヤーカンパを作成」アイコンをクリック ※1

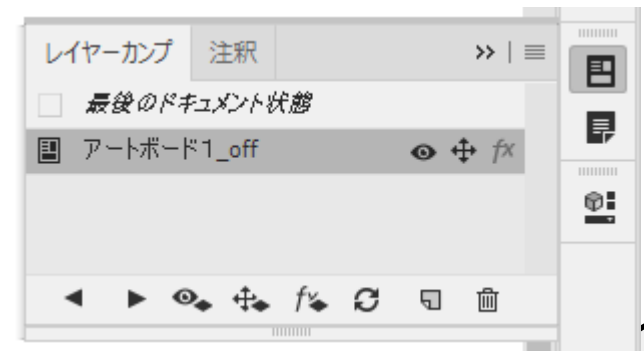
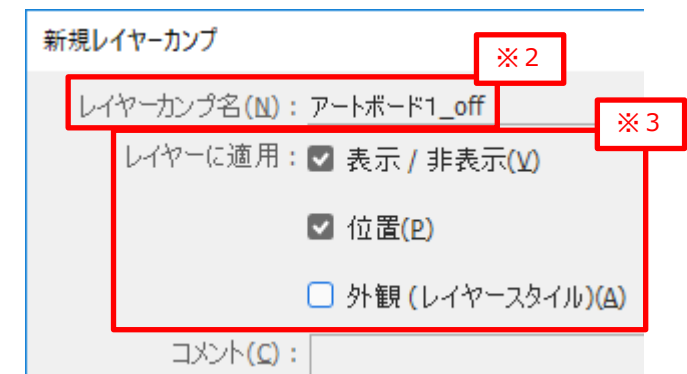
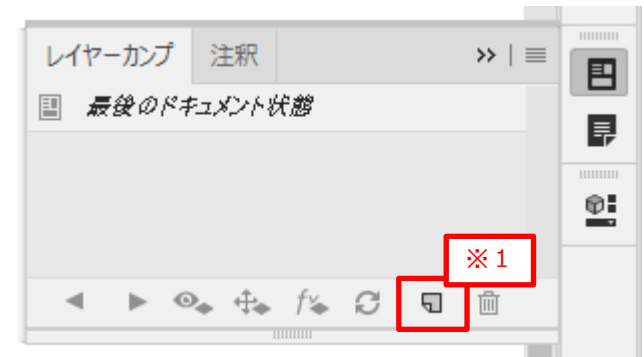
**新規レイヤーカンパ 画面**

レイヤーカンパ名: 「アートボード1\_off」 ※2

レイヤーに適用: 「表示/非表示」チェック 「位置」チェック ※3

「OK」クリックでレイヤーカンパ作成完了

練習) オンマウス時のレイヤーカンパを作成すること

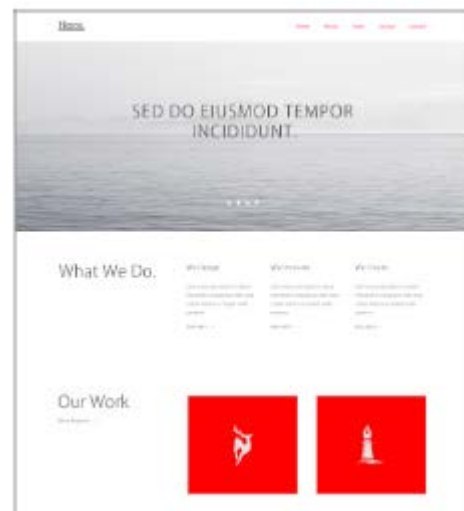
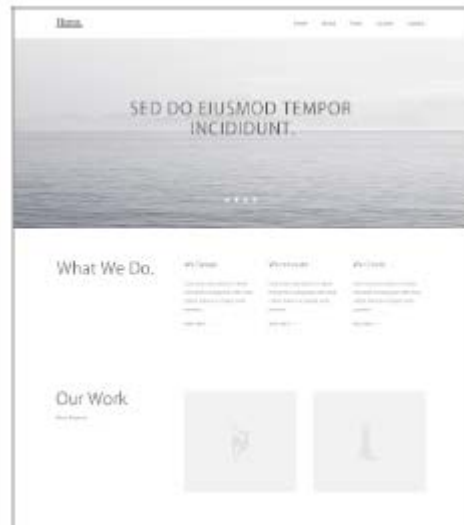
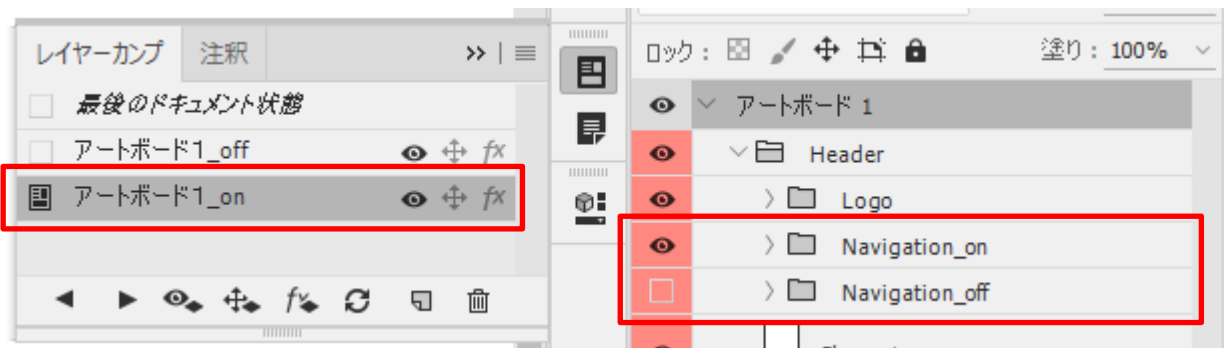
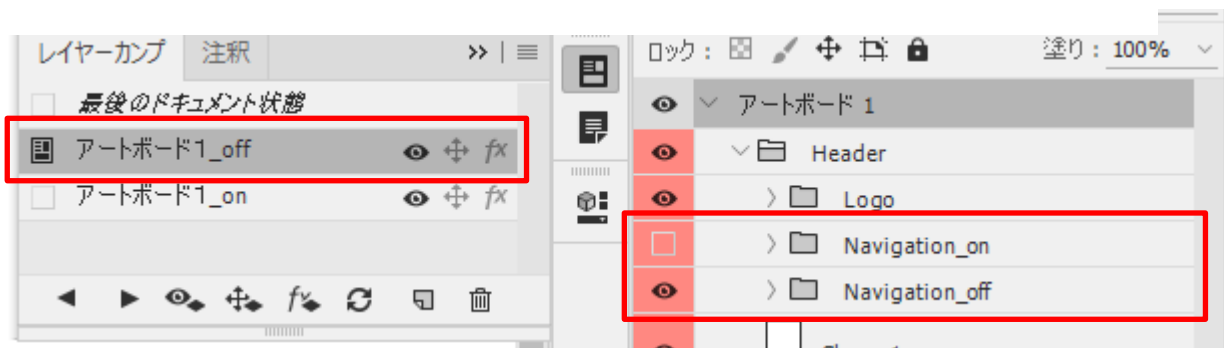


# レイヤーカンパ作成

## レイヤーカンパを選択

レイヤーカンパを選択すると次の3種類がレイヤーカンパ作成時の状態になる

- ・レイヤーパネル内のレイヤー表示/非表示
- ・ドキュメント内のレイヤー位置
- ・レイヤースタイルや描画モードの適用によるレイヤー外観



# ロールオーバーイメージ 作成

# ロールオーバーイメージ作成

## ロールオーバーイメージ作成

**メニューバー:** 「ファイル」 > 「HerosCC07.psd」を開く

**レイヤーパネル:**

「ロールオーバー対象レイヤーグループを選択」 > 「右クリック」 > 「レイヤーを複製」 ※1

**グループを複製 画面:** 「OK」クリック

**レイヤーパネル:**

「コピーしたレイヤーグループを選択」 ※2 > 「新規グループ作成」アイコンクリック ※3

新規作成したレイヤーグループの名前を「〇〇\_rollover」に変更 ※4

※ロールオーバー対象レイヤーを検索しやすくするため

ロールオーバー対象レイヤーをすべて表示

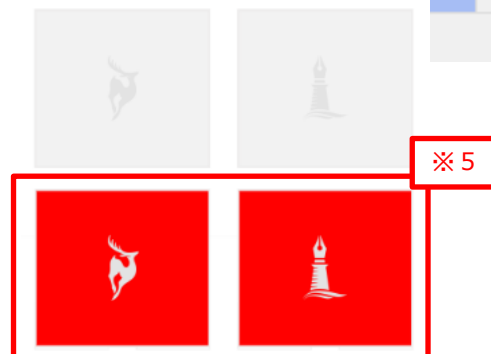
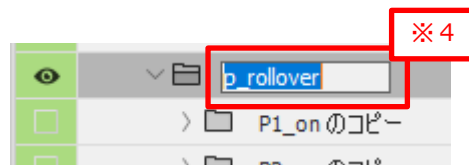
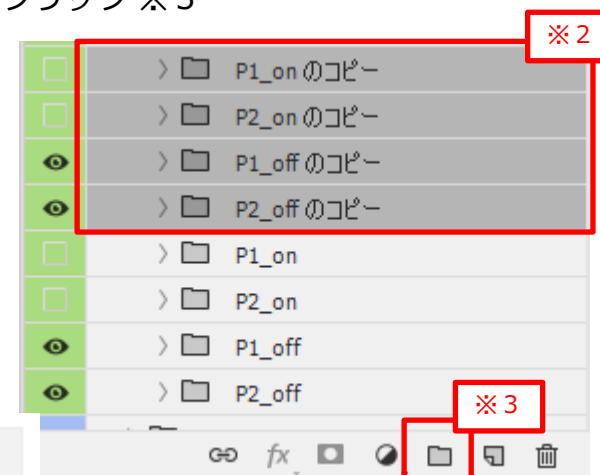
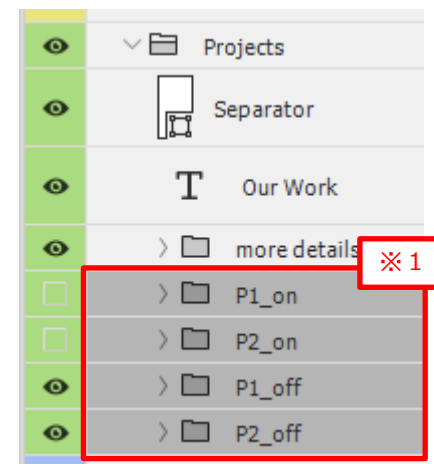
**ツールバー:** 移動ツール

「〇〇\_on」レイヤーを移動 ※5

**レイヤーパネル:**

「ロールオーバー対象レイヤーグループを選択」 > 「右クリック」 >

「〇〇としてクイック書き出し/書き出し形式」



# アニメーションGIF



# アニメーションGIF

## アニメーションGIF作成

**メニューバー:** 「ファイル」 > 「p\_00.gif」を開く

**レイヤーパネル:** レイヤーの名前が「インデックス」となって操作できない時 ※1

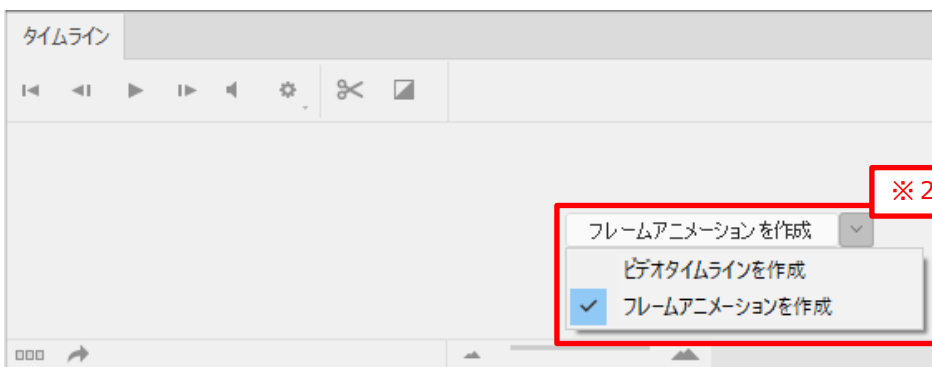
**メニューバー:** 「イメージ」 > 「モード」 > 「RGBカラー」 ※レイヤー操作可能

**レイヤーパネル:** 「レイヤーを複製」

アニメーション用の手をあげたキャラクターを作成

- ・図の一部をコピーして移動:  
「選択範囲指定」 > 「Ctrl」 + 「ドラッグ移動」
- ・図の一部を切り取って移動:  
「選択範囲指定」 > 「Ctrl」 + 「Alt」 + 「ドラッグ移動」

**メニューバー:** 「ウィンドウ」 > 「タイムライン」 > 「フレームアニメーションを作成」 選択後クリック



# アニメーションGIF

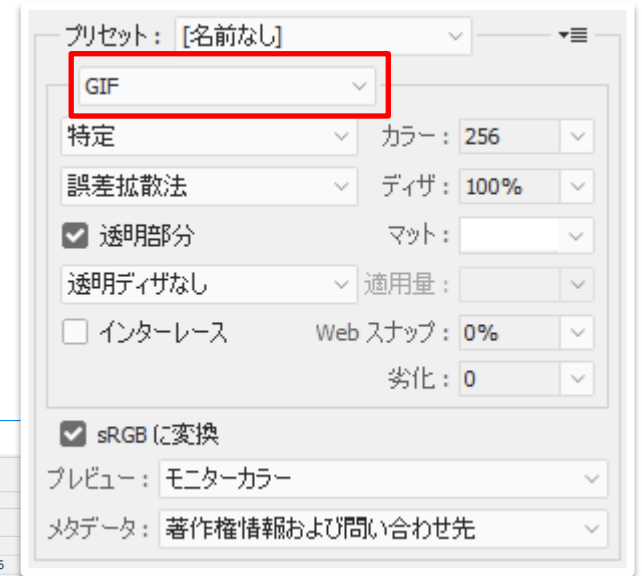
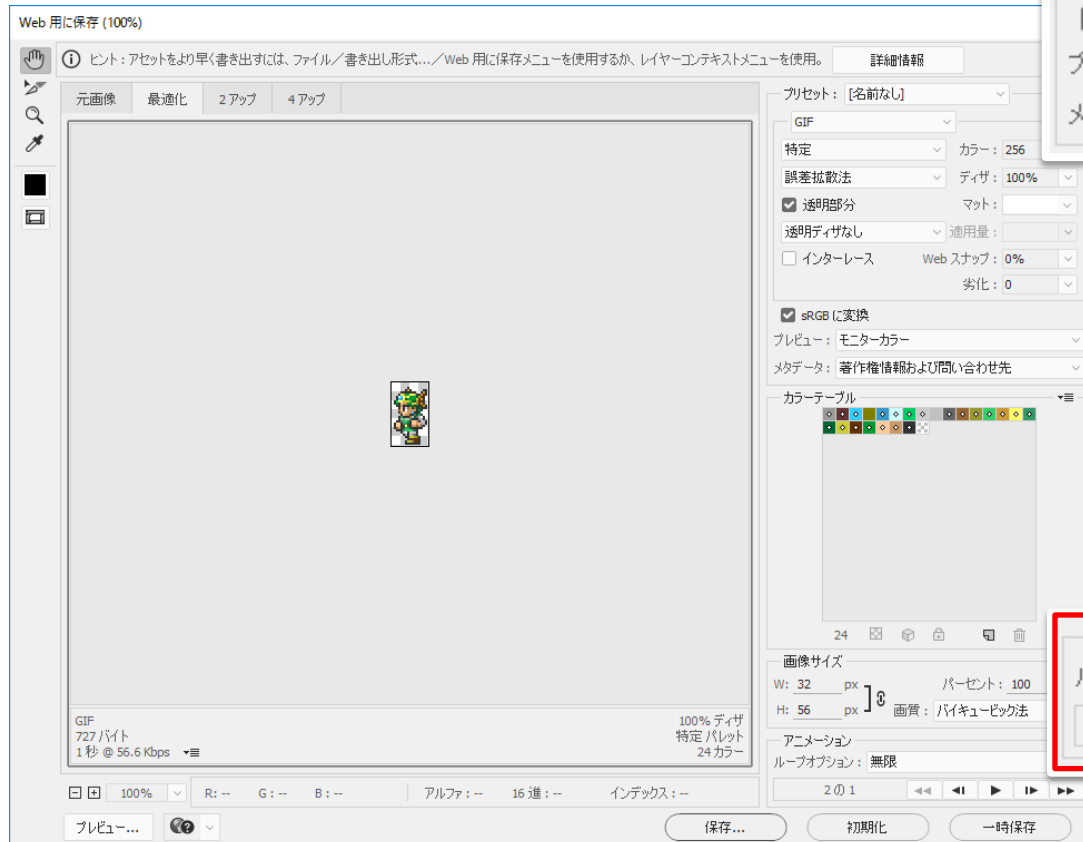
## アニメーションGIF保存

メニューバー：「ファイル」>「書き出し」>「Web用に保存（従来）」

プリセット：「GIF」

ループオプション：「無限」

「保存」クリック



# アニメーションGIF

## トゥイーン自動生成

**タイムラインパネル:** 「スタート位置フレーム」※1 と「終了位置フレーム」※2 を作成

フレーム時間 : 0.1秒

「スタート位置フレーム」を選択 ※3 > 「アニメーションフレームをトゥイーン」をクリック ※4

**トゥイーン 画面:** 追加するフレーム「5」※5

「OK」クリック

「スタート位置フレーム」と「終了位置フレーム」の間を  
補完するようにフレームが自動生成される ※6

